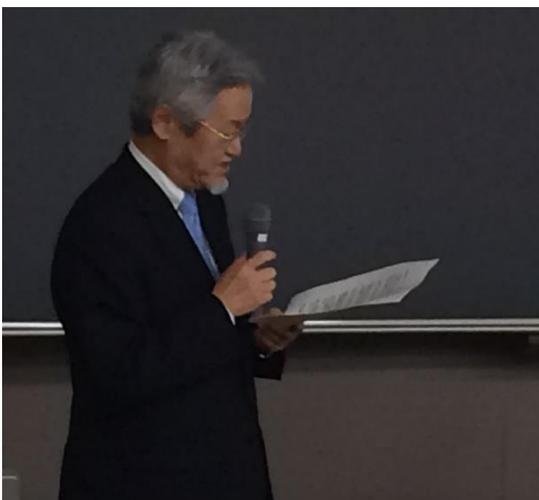


## 2. 日韓フードバンク・シンポジウム

- (1) シンポジウム概要
- (2) 資料 韓国フードバンクの概況
- (3) 資料 江南フードバンク・フードマーケット美所
- (4) 資料 聖公会フードバンク
- (5) 資料 フードバンク関西
- (6) パネル・ディスカッション記録



柳澤敏勝氏（明治大学）（左）、佐藤順子氏（佛教大学福祉教育開発センター）（右）





## 日韓フードバンク・シンポジウム 記録

### シンポジウム概要

タイトル：生活困窮者支援とフードバンクの役割

——韓国最新事例から——

日時：2016年11月27日（日）13:00～17:50

会場：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー1146教室

主催：（3科研による共催）

- ・学術研究助成基金助成金 基盤研究（C）「社会的排除に対する社会的連帯経済の役割に関する日韓比較研究」（研究代表者 柳澤敏勝）
- ・学術研究助成基金助成金 基盤研究（C）「生活困窮者支援におけるフードバンク活動の役割」（研究代表者 佐藤順子）
- ・科学研究費補助金 特別研究員研究奨励費「貸付と給付のリンケージ構造の研究」（研究代表者 角崎洋平）

通訳：キム・ボイエ氏（Kim Bo-Ye/ 김보예）

当日参加者数 36名（主催者・関係者含む）

### シンポジウム構成

開会あいさつ

明治大学副学長・商学部教授 柳澤 敏勝氏

第1部 プレゼンテーション

1. 韓国フードバンクの概況・訪問調査概要

明治大学経営学部准教授 小関 隆志

2. 韓国フードバンクの事例

(1) 江南基礎フードバンク・フードマーケット美所

チーム員・社会福祉士 チャン・チドク氏（장 지덕/ Jang Ji-Duk）

(2) 聖公会フードバンク

代表 キム・ハンスン神父（김 한승/ Kim Han-Seung）

3. 日本の実践家からみた韓国フードバンク

フードバンク関西理事長 浅葉 めぐみ氏

第2部 パネル・ディスカッション

閉会あいさつ

佛教大学福祉教育開発センター専任講師 佐藤 順子

# 韓国フードバンクの概況

2016年11月27日（日）  
明治大学経営学部准教授 小関隆志

## 1 沿革

### ◆環境政策としてのフードバンク

- 1995年頃 フードバンクの議論が始まった(小林2015;p167)
- 国の環境部が生ごみ排出を抑制するため、まだ食べられる売れ残り食品を回収し、経済的・社会的弱者に再配分する政策手段として着目(章2010;p.23)
- 1998年の計画で、フードバンクの運送費・人件費・施設購入費を財政支援し、制度の整備及び税制減免等を講じることを決めた(小林2015; p167)
- 1998年1月に、**モデル事業としてスタート** ソウルなど4都市
- 2004年頃までは環境部の**食品廃棄物対策としても事業を推進**(小林2015; p167)

### ◆1997年 アジア通貨危機による経済不況

- 企業の倒産や解雇が急増し、IMFから救済措置を受ける
- 失業者が大量に発生し、最低生活費以下の貧困世帯が急増した

# 1 沿革

## ◆福祉政策としてのフードバンク

- 1998年、保健福祉部がフードバンク事業を国政課題に盛り込む(章2010, p.24)
- 1999年、国のフードバンク統括部署を保健福祉部に移管  
⇒以降は、**フードバンクは福祉政策中心**で進められていった

## ◆法制度・体制の整備が進む

- 2000年 韓国社会福祉協議会にフードバンク**事業を委託**、補助金支給
- 2001年 **税制改正**：飲食料品の寄付は全額、寄付金等その他は寄付総額の30%まで損金算入・所得控除の対象となる(法人税・所得税ともに)
- 2001年 保健福祉部が「**フードバンク事業長期発展計画**」を策定
- 2006年 **食品寄付活性化法**制定：衛生事故で寄付者の免責条項が盛り込まれる
- 2009年 金融危機下の失業者対策として**寄付食品中央物流センター**を開設。**フードマーケット設置支援事業**を始める(小林2015; 全国フードバンクウェブサイト)

# 1 沿革

## ◆環境政策から福祉政策へのシフト

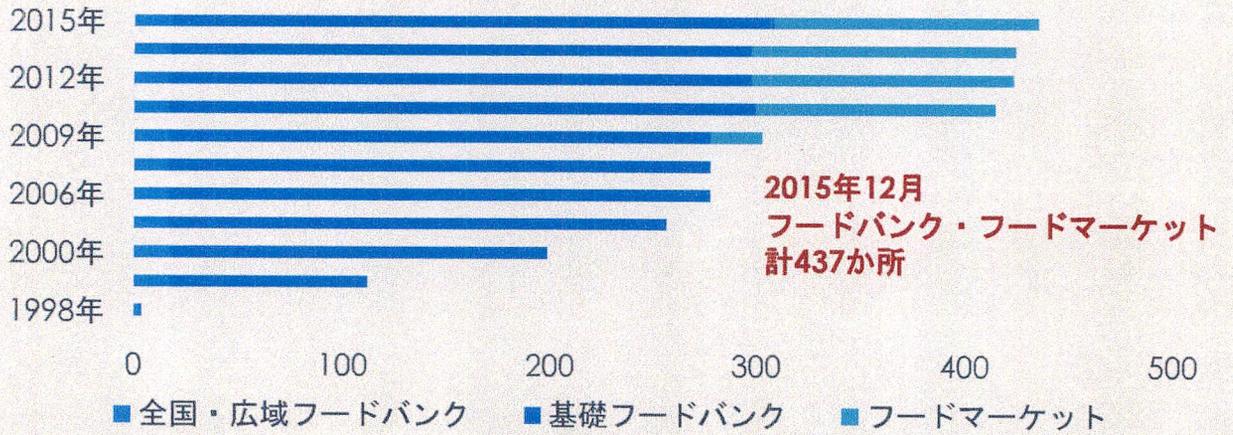
- アジア通貨危機(1997)・金融危機(2008)を契機に、福祉政策中心に転換
- 受給者のニーズを反映させるため、寄付金で食品を購入することも一般化。企業や消費者は、食品ロス以外の寄付行為が目立つようになった(小林, 2015, p.192)
- 食品ロス削減への貢献は「規模は不十分」である一方、福祉への貢献は「極めて効果的であった」(小林, 2015, p.193)

## ◆様々なフードバンク推進施策

- 1998年 専用の電話設置、冷凍庫・運搬車両などの装備への財政支援
- 2001年 全国フードバンクウェブサイト制作
- 2006年 フードバンクによる学校給食の強化、地方自治体への事業移管
- 2009年 利用者保護のための保険加入促進、フードマーケット設置、食品寄付総合情報システムの構築、担当職員の教育訓練、食品寄付会社との懇談会(章,2010,p.25)

# 1 沿革

### フードバンク拠点数推移



出典 章(2010); 小林(2015); 全国フードバンク  
ウェブサイトをもとに筆者作成

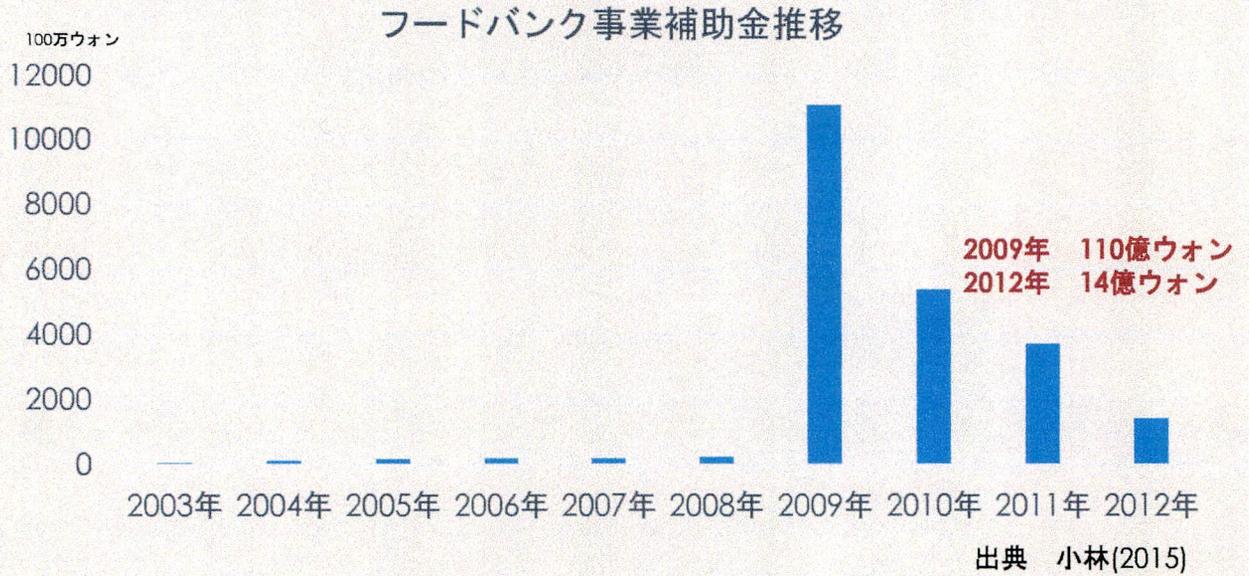
# 1 沿革

### 食品寄付額の推移



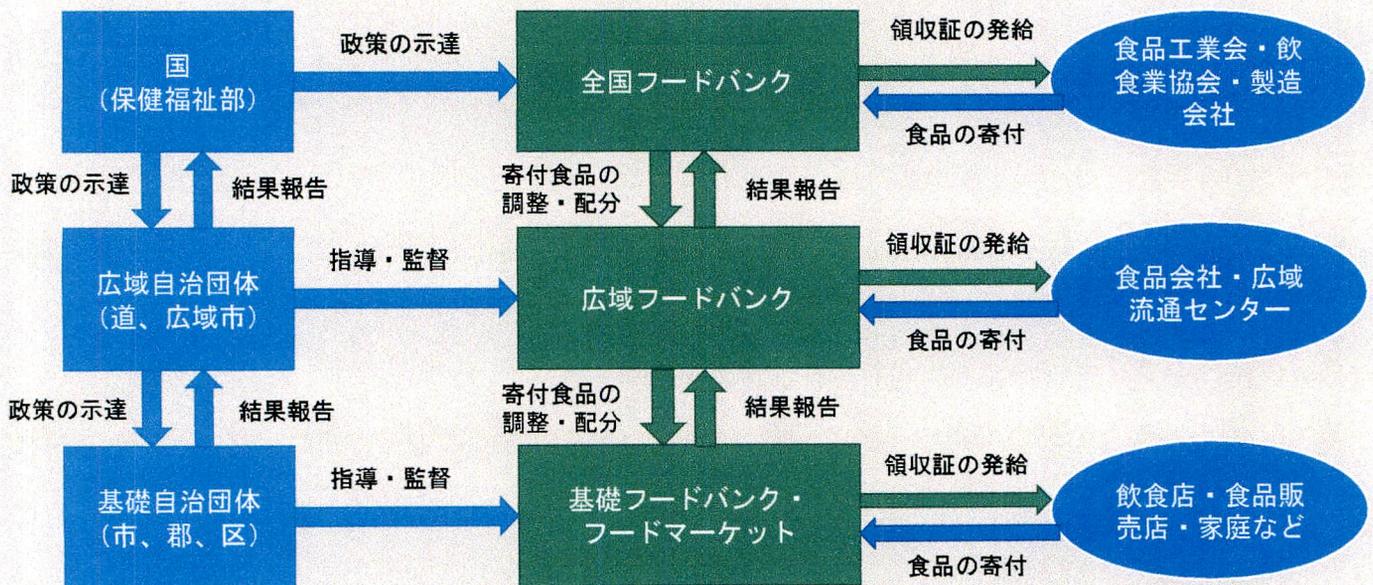
出典 小林(2015)

# 1 沿革



# 2 体制

出典：全国フードバンクウェブサイト、章(2010) p.26



## 2 体制

### ◆全国フードバンクの役割

➢全国のフードバンク活動を後押しする事業

- ① 全国フードバンクのデータベース構築
- ② 中央物流センターの運営
- ③ 寄付食品普及促進運動
- ④ フードバンク及びフードマーケット運営支援

➢韓国社会福祉協議会が保健福祉部から事業を受託して運営する

✓全国単位の寄付食品を受け入れ、下位のフードバンクに配分する

全国フードバンク 寄付実績  
209億ウォン (2011年)

### ◆中央物流センター

➢2009年、大田広域市に開設した

➢ソウル市以外の各地域のフードバンク・フードマーケットを中心に定期的に出荷する

## 2 体制

### ◆広域フードバンクの役割

➢物流センターの運営

➢基礎フードバンクの計画づくり、指導

➢相談、広報活動 など

➢道、広域市単位の寄付食品を受け入れ、基礎フードバンクに配分する

広域フードバンク 寄付実績  
538億ウォン (2011年)

(ソウル市 241億ウォン、  
京畿道 170億ウォン、  
他14FB計 128億ウォン)

### ◆基礎フードバンクの役割

➢市・郡・区単位の寄付食品を受け入れ、最終配分団体に配分する

➢区域内の貧困層、欠食者の状況、寄付食品量などのデータを集計

➢利用施設、生活施設、福祉法人、各種団体などが受託して運営

## 2 体制

### ◆事業体系

- **フードバンク**：寄付された食品や生活用品などを低所得層へ支援する社会福祉サービス。



出典：全国フードバンク ウェブサイト

## 2 体制

### ◆事業体系

- **フードマーケット**：寄付された食品や生活用品をコンビニ形態の売り場に陳列。利用者が訪問し、欲しい物品を選ぶことができるサービス。



出典：全国フードバンク ウェブサイト

## 2 体制

### ◆事業体系

- **移動フードマーケット**：地域的・地理的な理由で所蔵品などの提供サービスが困難な事業階層に、食品運搬車両を利用して村・集落の拠点で寄付された食品などを支援する社会福祉サービス。



出典：全国フードバンク ウェブサイト

## 2 体制

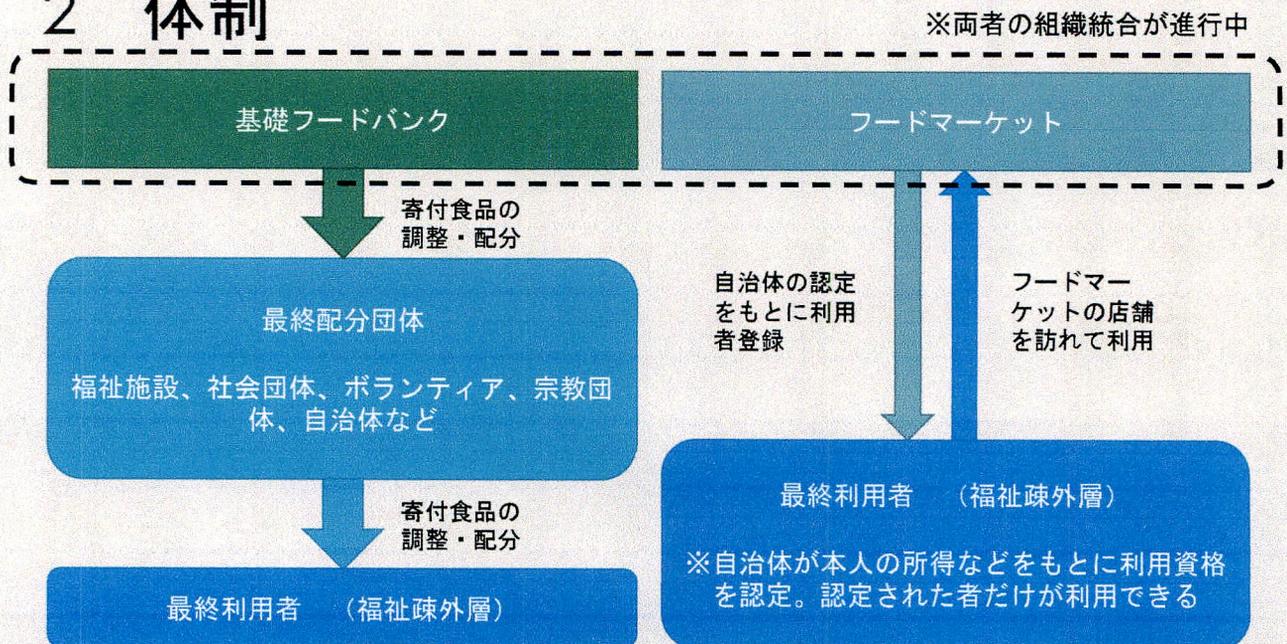
### ◆事業体系

- **食品分け合い行事**：全国大会、テレビ報道、食品分け合いキャンペーンなどを積極的に行う。



出典：全国フードバンク ウェブサイト

## 2 体制



出典：章(2010)および筆者の聞き取り調査をもとに筆者作成

## 2 体制

### ◆基礎フードバンク運営団体における、フードバンク事業の位置づけ

- ▶運営団体は、社会福祉協議会、青年福祉財団、救世軍、ソウルカソリック社会福祉会、社会福祉館など多様。
- ▶運営団体がフードバンク事業を受託。運営経費（人件費や家賃など）を市・区から受け取り、食品寄付を企業などから受け入れ、職員を雇用。
- ▶地域社会福祉館は、住民の相談、放課後児童プログラム、給食サービス、老人余暇、青少年の社会教育、就職・副業のあっせんなどを提供。セツルメント運動を起源とし、韓国では1906年の隣保館を嚆矢とする
- ▶地域社会福祉館は391か所（2006年6月現在）(竹並2009; p.85)

表3 地域社会福祉館の主な事業内容

分野	単位事業	優先対象プログラム
家族福祉事業	・家族関係の増進 ・家族機能の補強 ・家庭問題の解決 ・扶養家族支援事業	－個人および家庭問題などを相談 －放課後の児童保護プログラム
地域社会保護事業	・給食サービス ・保健医療サービス ・経済的な支援 ・日常生活の支援 ・情緒サービス ・一時保護サービス	－給食サービス －軽度保護所、短期保護所の運営
地域社会組織事業	・住民組織化および教育 ・福祉ネットワーク構築 ・住民福祉増進 ・自発奉仕者の要請および支援者の開発と組織	－住民組織体の形成および運営 －福祉ネットワークの構築
教育文化事業	・児童および青少年の生涯教育 ・成人の技能教室 ・お年寄りの余暇文化 ・文化福祉事業	－老人余暇・文化プログラム －児童・青少年社会教育プログラム
自活事業	・職業技能訓練 ・就職斡旋 ・職業能力開発 ・自活共同体育成	－職業・副業の案内および斡旋 －職業・副業技能訓練および共同作業場の運営

### ◆地域社会福祉館の主な事業内容

➤ 多様な事業内容のひとつに「経済的な支援」も含まれる。フードバンク事業は、「経済的な支援」の一つのメニューとなっている (竹並2009; p.89)

「経済的な支援」

## 3 実績

### 全国フードバンクの現況(2015年)

出典：全国フードバンクウェブサイト

計	全国フードバンク	中央物流センター	広域フードバンク	フードバンク	フードマーケット
437	1	1	17	291	127

### 寄付実績の現況

(2015年度)

1. ソウル: 40,833  
3. 仁川: 6,968

単位: 100万ウォン

2. 景畿: 34,810  
4. 釜山: 6,915

### 運営実績

(2015年)

#### ・食品寄付実績

募集総額: 1,609億ウォン  
寄付件数: 724,383件

#### ・利用対象者

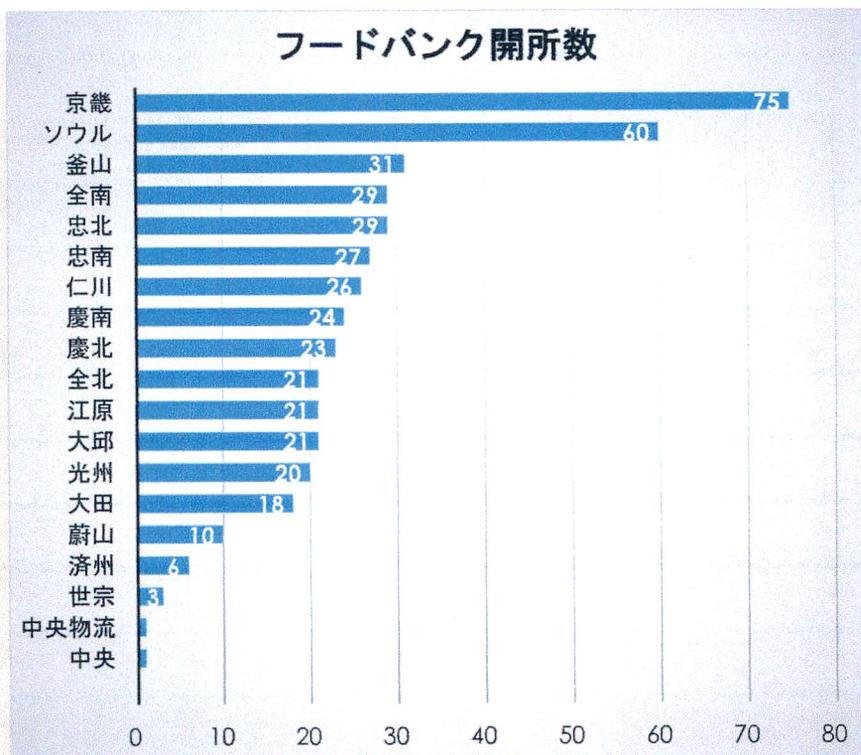
個人: 322,259名  
団体: 14,264か所

### 3 実績

#### ◆フードバンク開所数

- ソウル市と京畿道  
(ソウル市郊外)で国  
全体の約3割を占める

出典：全国フードバンク  
ウェブサイト  
データは2016年10月現在

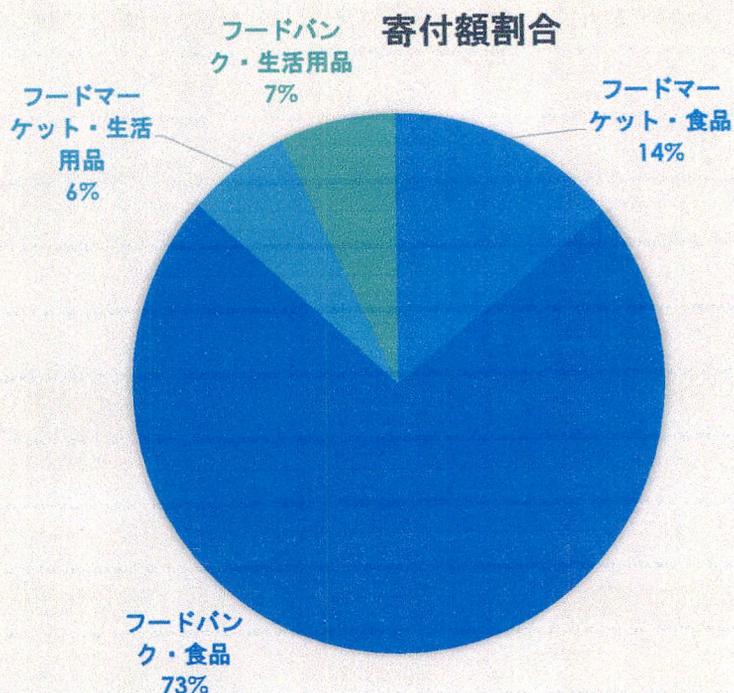


### 3 実績

#### ◆寄付額

- 2015年1月1日～12月31日
- 全国計1607億6800万ウォン
- 食品は1392億ウォンで全体の87%
- フードバンク事業は1279億ウォンで全体の80%

出典：全国フードバンク  
ウェブサイト  
データは2016年10月現在

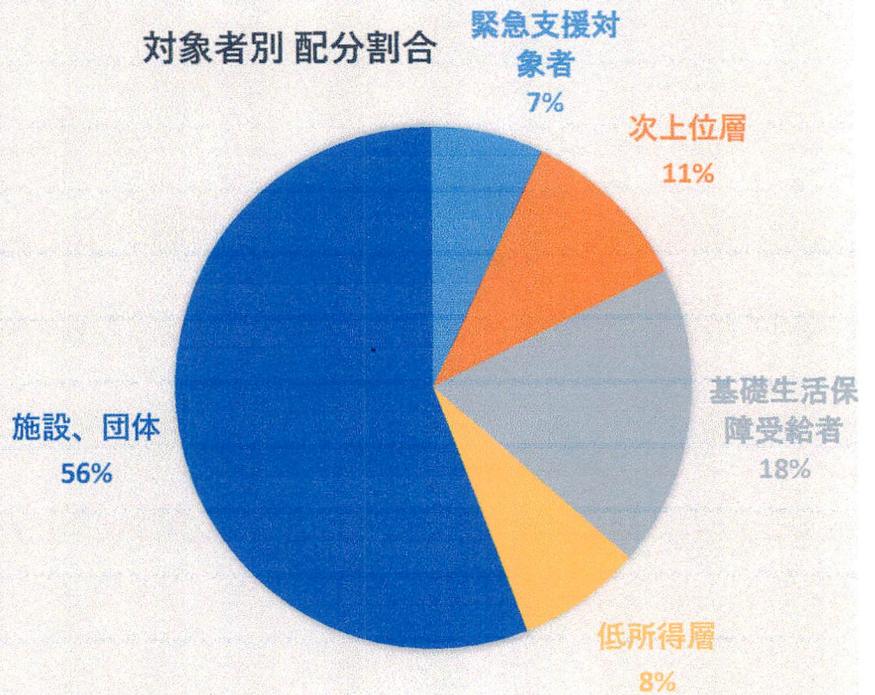


### 3 実績

#### ◆配分額・割合

- 2015年1月1日～12月31日
- 全国計 1520億ウォン
- 施設・団体を通じた配分が過半（56%）を占める

出典：全国フードバンク  
ウェブサイト  
データは2016年10月現在

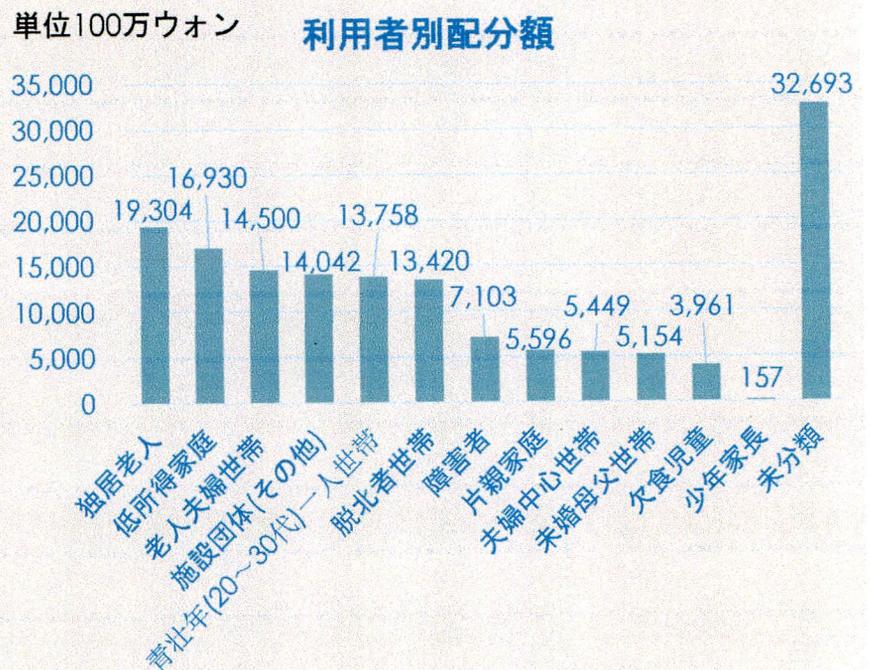


### 3 実績

#### ◆配分額

- 2015年1月1日～12月31日
- 全国計 1520億ウォン
- 未分類を除くと、独居老人、低所得家庭、老人夫婦世帯などが多い

出典：全国フードバンク  
ウェブサイト  
データは2016年10月現在



## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆調査主体：3科研

① 基盤研究（C）「生活困窮者支援におけるフードバンク活動の役割」

平成27-29年度（研究代表者 佐藤順子／連携研究者 角崎洋平・小関隆志）

※以下、佐藤科研と略称

② 基盤研究（C）「社会的排除に対する社会的連帯経済の役割に関する日韓比較研究」

平成27-30年度（研究代表者 柳澤敏勝／研究分担者 小関隆志ほか）

※以下、柳澤科研と略称

③ 特別研究員奨励費「貸付と給付のリンケージ構造の研究」

平成27年度-平成28年度（研究代表者 角崎洋平）

※以下、角崎科研と略称

## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆訪問調査の目的

- 生活困窮者に対する自立支援の一環として、フードバンクが果たし得る役割を明らかにすること
- 韓国のフードバンクは、貧困問題を背景に、生活困窮者の救済を主目的に据えている。また、フードバンクを運営する社会福祉協議会の体制が日本と似ているため、日本への応用可能性が高い。⇒日本のフードバンク活動への示唆を求めること

### ◆調査主体と調査時期

- 調査主体：3科研（柳澤科研、佐藤科研、角崎科研）
- 調査メンバー：佐藤順子、角崎洋平、小関隆志、上原優子、浅葉めぐみ、Park Joon-Young, Woo Jong-Boem 計7名
- 調査時期：2016年8月30日～9月3日（4日間）

## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆訪問先：韓国 ソウル市

- 広域フードバンク：ソウル
- 基礎フードバンク・フードマーケット：永登浦、江南、西大門（計3団体）
- 民間フードバンク：聖公会
- 食品提供企業：CJ第一製糖

## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆ソウル市広域フードバンク

- 運営主体：ソウル特別市社会福祉協議会
- 事業内容
  1. フードバンクセンターの運営：ソウル市内62事業所（基礎フードバンク25、フードマーケット32、直営事業所5）を対象とした物流センター。食料倉庫
  2. 希望の馬車：ソウル市内の洞住民センターなど105か所の拠点機関と連携。貧困地域に赴いて、社会的弱者（脆弱層、緊急支援対象世帯、被災世帯）に対し、週2-3回直接食料を提供する。
  3. ソウル市のフードバンク事業の計画立案、資金調達、広報宣伝など
- 寄付・配分実績
  1. 2015年度寄付実績 3168社から426億ウォン
  2. 2015年度配分実績 フードバンクは1515か所・約20万人、フードマーケットは34万世帯  
出典：聞き取り結果（2016年8月31日）およびパンフレット

## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆ソウル市広域フードバンク



## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆永登浦サランナムフードバンク・フードマーケット

➢運営主体：永登浦区社会福祉協議会

➢事業内容

1. フードバンク事業：広域フードバンクからの食料を受け入れ、また独自に企業などから食料を受け入れ、無料給食所や地域児童センター、その他の社会福祉施設に配分。
2. フードマーケット事業：永登浦区が認定した住民を利用者として登録。受け入れた食料や衣類・雑貨等を店舗に配架する。訪問相談・利用更新に応じる。3店舗を運営。
3. 寄付教育活動、地域との交流・連携、広報活動

➢寄付・配分実績

1. 2015年度寄付実績 122万ウォン（フードバンク）、6億3550万ウォン（フードマーケット）
2. 2015年度配分実績 132万ウォン（フードバンク）、6億5492万ウォン・利用者数延べ15,767名（フードマーケット）

## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆永登浦サランナムフードバンク・フードマーケット



## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆江南区フードバンク・フードマーケット美所（ミソ）

➢運営主体：江南障がい人福祉会（設立母体は社会福祉法人ハサン福祉財団）

➢事業内容

1. フードバンク事業：寄付を受けた物品を、登録されている社会福祉施設（福祉館、生活施設、無料給食所、各種センターなど）に配送する。
2. フードマーケット事業：独居老人、障がい者、次上位層、基礎生活受給者、緊急救護家庭などの低所得者に食料を提供する。2店舗を運営。
3. 移動フードマーケット事業（訪問サービス）
4. イベントなどの広報活動

➢寄付・配分実績

1. 2015年度寄付実績 1億640万ウォン（フードバンク）、15億4469万ウォン（フードマーケット）
2. 2015年度配分実績 9億360万ウォン（フードバンク）、20億9648万ウォン（フードマーケット）

## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆江南区フードバンク・フードマーケット美所（ミソ）



## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆西大門フードマーケット

➢運営主体 維持財団法人（この上位団体は救世軍）

➢事業内容

1. フードマーケット事業：食品・雑貨の寄付募集と管理、寄付者の発掘（2店舗を運営）
2. 収益事業：リサイクル品店（「分け合いの店」）、ナムムカフェ（コーヒーショップ）、文化講座（「分け合いの庭」）の開催

➢寄付・配分実績

1. 2015年度寄付実績 4億5781万ウォン
2. 2015年度配分実績 4億1742万ウォン

## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆西大門フードマーケット



## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆聖公会フードバンク

➢設立母体：大韓聖公会

➢事業内容

1. フードバンク事業：無料給食事業、弁当配達事業、その他キャンペーン事業
2. フードマーケット事業：冠岳支部のみ、区の委託を受けてフードマーケットを運営
3. 収益事業：おにぎりコンサート（現在休止中）、食堂事業

➢寄付・配分実績

1. 2015年度寄付実績 6460万ウォン
2. 2015年度配分実績 利用人員21514名、年間利用者数 775304名

## 4 韓国フードバンク訪問調査

### ◆聖公会フードバンク



## 参考文献一覧

- ▶小林富雄(2015)『食品ロスの経済学』農林統計出版(第11章「韓国フードバンク活動における贈与経済への展開」pp.163-194)
- ▶章大寧(2010)「韓国のFood Bank制度—環境・資源的役割に注目して」『南九州大学研究報告 人文社会科学編』40B, pp.21-35.
- ▶竹並正宏(2009)「韓国の地域社会福祉実践機関「地域社会福祉館」の研究」『川崎医療福祉学会誌』19(1), pp.85-92
- ▶全国フードバンク <https://www.foodbank1377.org/New/Index.jsp>

江南区フードバンク・フードマーケット ミソ(美所)  
GANGNAMGU FOODBANK・MARKET MISO(美所)

---

2016年11月27日(日)

## 目次

- ・大韓民国の社会福祉資格取得システム
- ・大韓民国 社会福祉士の進路
- ・江南区フードバンク・マーケットの社会福祉士は？
- ・大韓民国フードバンク・マーケットの理解
- ・江南区の地域特性
- ・江南区フードバンク・マーケットの理解
- ・江南区フードバンク・マーケットの主要な事業内容

## 大韓民国の社会福祉資格取得システム

社会福祉士  
1級資格

社会福祉士2級の資格を所持した人に対して  
1級の資格試験を受験可能  
**資格取得条件**は全科目総点の60%以上、各科目満点の40%以上の得点

社会福祉士  
2級資格

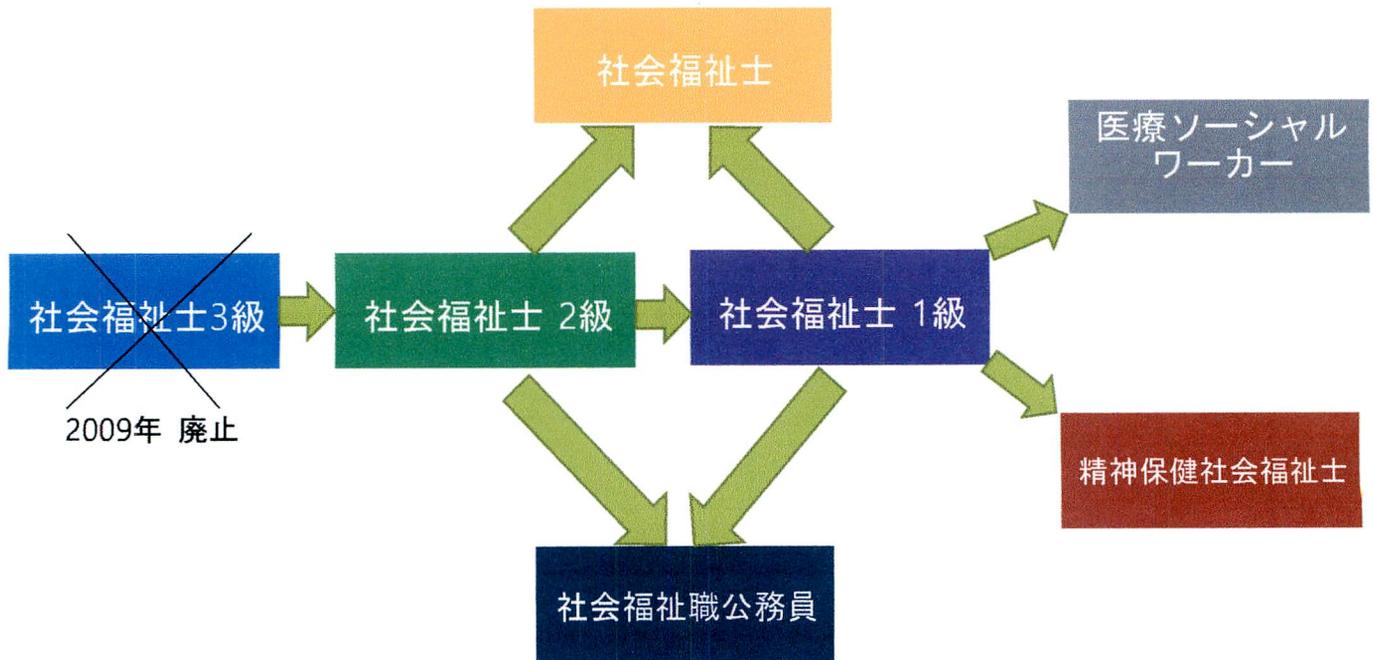
4年制または2年制（専門学校）社会福祉学科卒業と学位取得を通じて  
社会福祉必修科目を履修すれば2級の資格を取得することができる。

## 大韓民国の社会福祉資格取得システム

社会福祉士2級の資格は、**120時間の社会福祉施設  
現場実習**を必須に履修する必要があり、**8つの必修科目**  
を履修しなければならない。

必修科目：人間の行動と社会環境、社会福祉調査論、社会福祉実践  
論、  
社会福祉実践技術論、地域社会福祉論、社会福祉政策論、  
社会福祉行政論、社会福祉論

# 大韓民国の社会福祉資格取得システムと進路



## 大韓民国社会福祉士の進路

### 一般的な領域

- 公的社会福祉領域
- 社会福祉機関や施設の領域
- 医療ソーシャルワーカー  
(Medical Social Worker)
- 精神保健社会福祉士  
(Mental Health Social Worker)

### 拡張領域

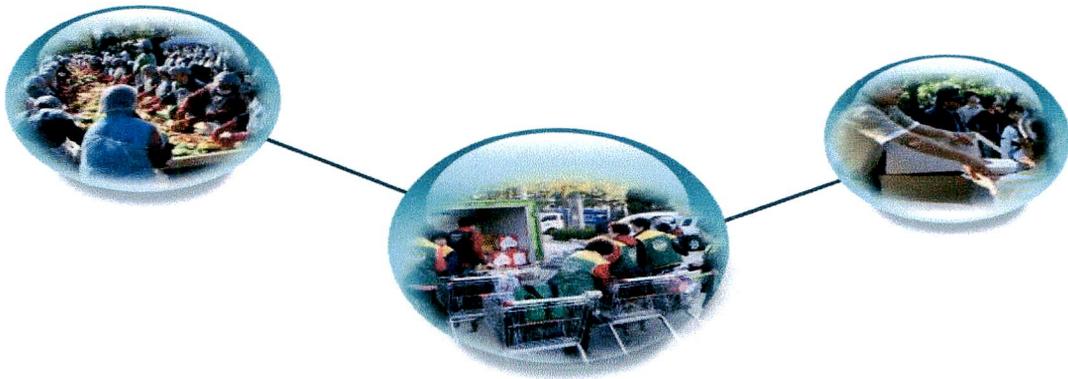
- 学校社会福祉士
- ボランティア・コーディネーター  
(Voluntary Activities Coordinator)
- 更生社会福祉士  
(Correctional Social Worker)
- 軍社会福祉士  
(Military Social Worker)
- 産業社会福祉士  
(Industrial Social Worker)

# 大韓民国のフードバンク・マーケットは？

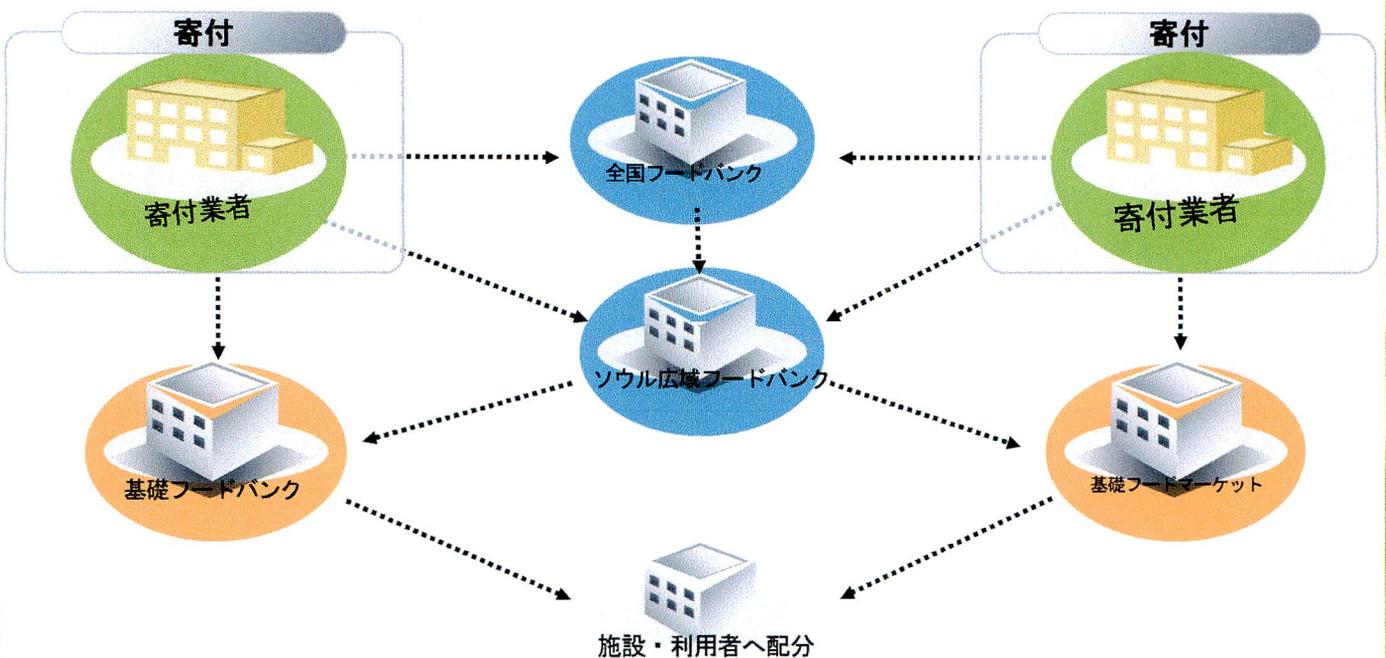
1998年1月のIMF危機以降、ソウル、釜山、大邱、果川を対象に試験事業を開始

これまで**全国フードバンク1か所、広域フードバンク17か所**

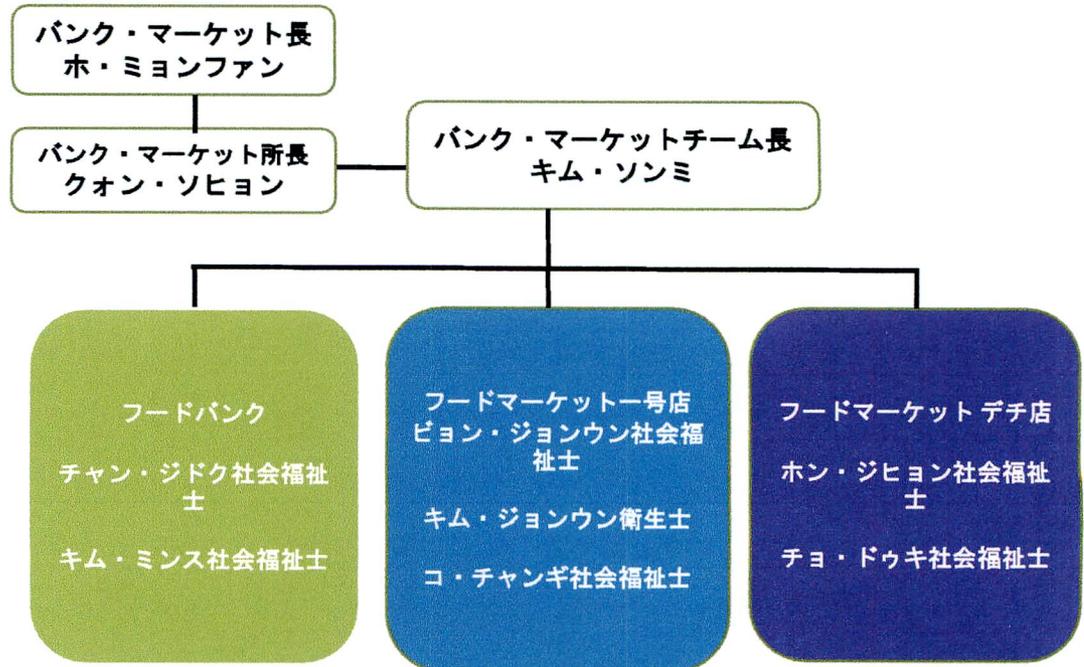
**基礎フードバンク291か所, 基礎フードマーケット127か所**が運営中



# 大韓民国のフードバンク・マーケットは？



## 江南区フードバンク・フードマーケットミソ（美所）組織図



## 江南区フードバンク・マーケットミソ（美所）の 社会福祉士

<p>ケース管理 (Case Management)</p>	<p>利用者の初期受付相談および基礎相談=&gt;集中、単純事例の箱区分 集中管理対象者は、近くの社会福祉施設での連携と管理</p>
<p>資源開発 (Resource Development)</p>	<p>寄付食品提供事業の主目的である物品を利用者に配分するために 物的資源を頻繁に開発し、ボランティアなどを頻繁に募集する。</p>
<p>公共機関 連携</p>	<p>社会福祉施設と住民センター、区役所などで要求された緊急支援対象者に 商品を提供して管理し、家庭訪問を通じて実態を確認する。</p>

# 江南区フードバンク・マーケットの歴史

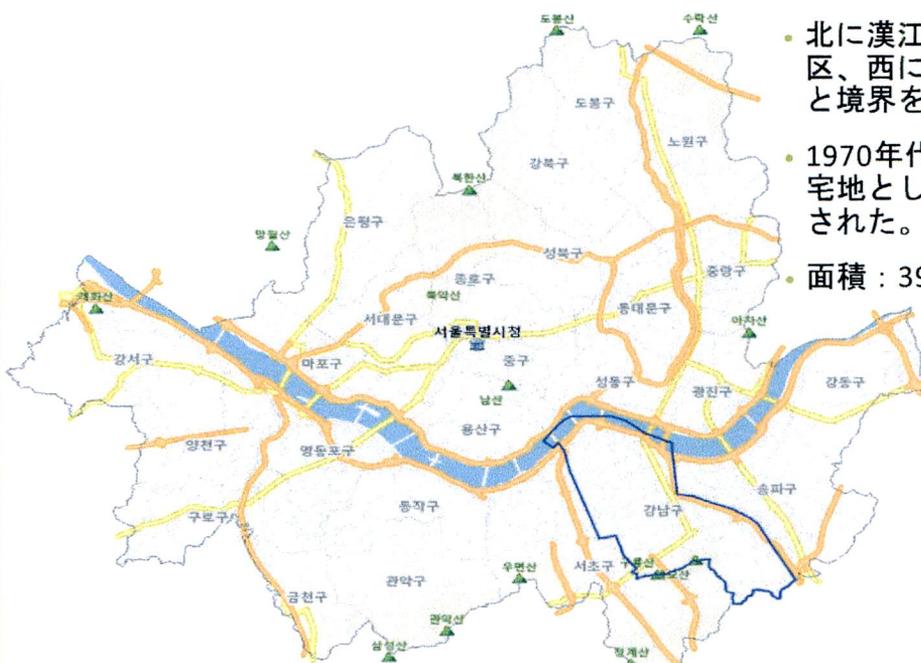
## 2010年代

- 2015. 11 ソウル市／保健福祉部の評価にて優秀フードバンク／マーケットに選定
- 2015. 01 ソウル市／江南区基礎フードバンク、江南フードマーケット統合
- 2013. 11 ソウル市 フードバンク・マーケット評価にて優秀フードバンク・マーケット
- 2013. 02 保健福祉部 フードバンク・マーケット評価にて最上等級へ選定
- 2012. 12 ソウル市 優秀フードマーケットへ認定(ソウル市社会福祉協議会長)  
ソウル市フードバンク・マーケット評価2位(2009 - 2011)
- 2012. 07 ソウル市 フードバンク評価にて最優秀機関へ選定 (ソウル市社会福祉協議会)
- 2011. 12 ソウル市 フードバンク／マーケット評価にて最優秀機関へ選定
- 2011. 09 ソウル地域 基礎フードバンク 寄付実績一位を達成
- 2011. 04 江南フードマーケット デチ店 開所

## 2000年代

- 2009. 12 ソウル市フードバンク 評価にて最優秀フードバンク／マーケットに選定  
総合評価1位(ソウル特別市)
- 2009. 02 江南フードマーケット イルオン店 開所
- 2008. 1 ソウル市フードバンク 評価 優秀フードバンクに選定(ソウル市社会福祉協議会)
- 2007. 11 ソウル市フードバンク 評価 優秀フードバンク(ソウル市社会福祉協議会)
- 2006. 12 基礎フードバンク 運営評価 最優秀フードバンク(ソウル特別市)
- 2005. 12 ソウル市フードバンク 評価 優秀フードバンク(ソウル市社会福祉協議会)
- 2003. 05 全国で最初にフードバンク 事業生産物賠償責任保険へ自主加入
- 2003. 04 区費支援の専任人材及び衛生士を採用(全国初)
- 2002. 10 江南区基礎フードバンクが正式に発足

# 江南区の地域特性



- 北に漢江を境に城東区・広津区、東に松坡区、西に瑞草区と接し、南に京畿道城南市と境界を成す。
- 1970年代、ソウル都市開発計画によって住宅地として開発。1975年増設に応じて新設された。
- 面積：39.50km<sup>2</sup> (ソウル市の6.53%に相当)

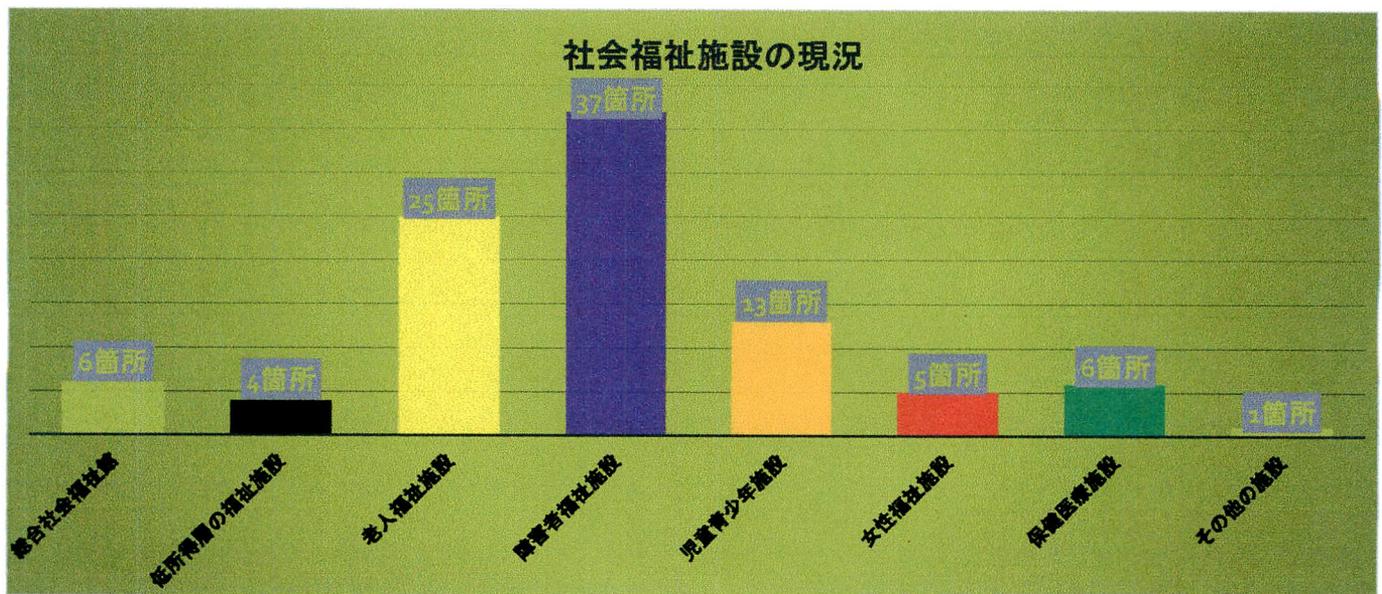
## 江南区の地域特性



- ソウル25自治区のうち、経済的な自立度が高い自治区であると同時に、低所得層が密集している永久賃貸アパートが密集している地域で、他の地域よりも貧富の格差が激しい。
- 25自治区のうち6番目に低所得層の人口が多い。
- 22洞から構成されており、水西洞、細谷洞、逸院洞、開浦洞に社会福祉施設が多く分布している。

	総人口	65歳以上	国民基礎生活保障	障がい者
人	577,380	56,675	11,410	15,863

## 江南区の地域特性



計 97施設

## 江南区基礎フードバンクは？

社会福祉施設中心	大量に寄付を受けた物品をフードバンクに登録されている社会福祉施設(福祉館、生活施設、無料給食所、各種センターなど)に伝達し、施設を利用する対象者が物品を受け取れるよう支援
低所得層の支援	社会福祉施設を利用する利用者(緊急支援、次上位、国民基礎生活受給者)を対象に1年で約4,800世帯へ物品を伝達

## 江南区の基礎フードバンクは？

国や自治体からの補助金などを受けたり、利用者から費用・実費を受けている療養病院などには原則的に提供禁止。

## 江南フードマーケットは？

個人利用者 中心	物品無料サポート（利用者が月1回の店舗で直接訪問して 希望食品、生活用品をもたらすことができます）
低所得層の 支援	独居老人、障がい者、次上位層、基礎生活受給者、緊急救護家庭などを 発掘し、1年で約1,500世帯を支援
訪問 サービス	利用者のうち行動が不便で店の訪問が困難な利用者に 家庭を訪問して商品を提供する

## 江南フードマーケットは？

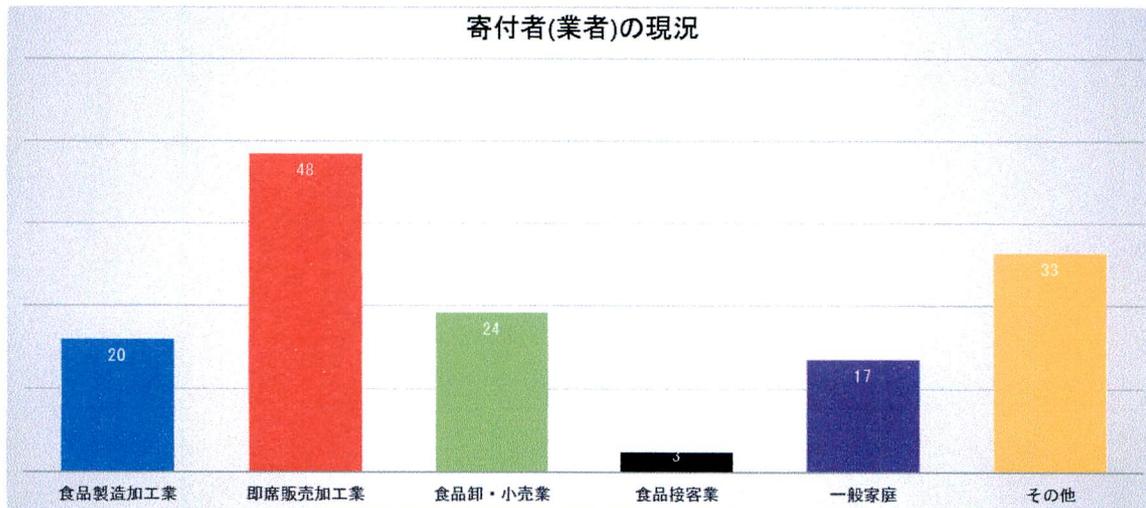
フードマーケット利用者は、  
**毎年**利用資格審査を経て**変更**される  
(既存の利用者は1年～2年待機し、再び利用)

利用1位：緊急支援対象者

利用2位：次上位層

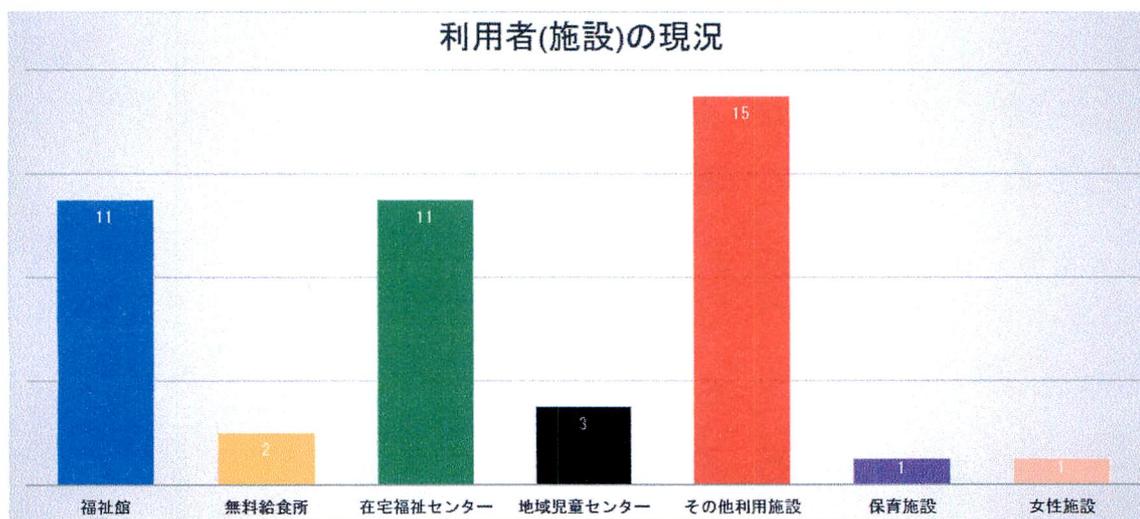
利用3位：需給脱落者および基礎生活受給者など

## 江南区基礎フードバンク・マーケットの寄付者(業者)の現況



計145業者

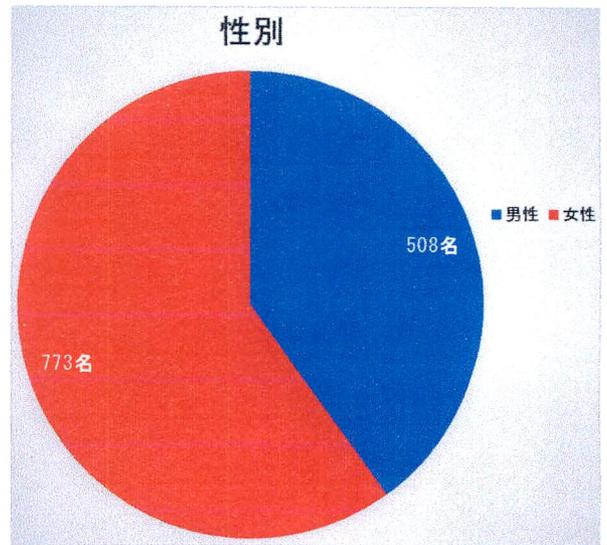
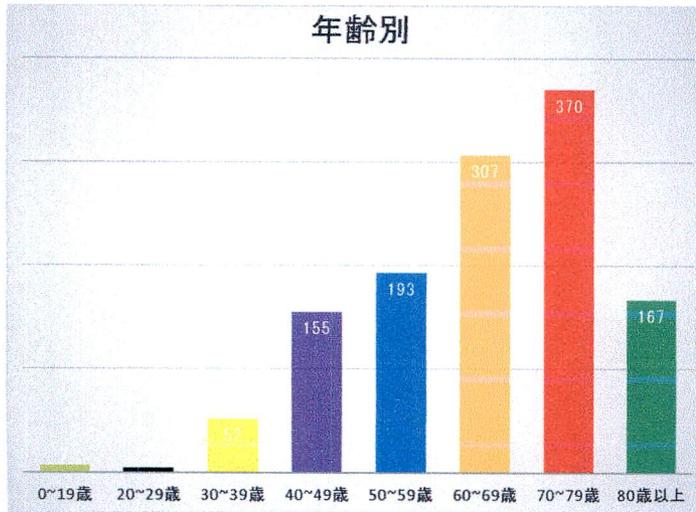
## 江南区フードバンク・マーケットの利用者(施設)の現況



計44施設

# 江南区フードバンク・マーケットの利用者(個人)の現況

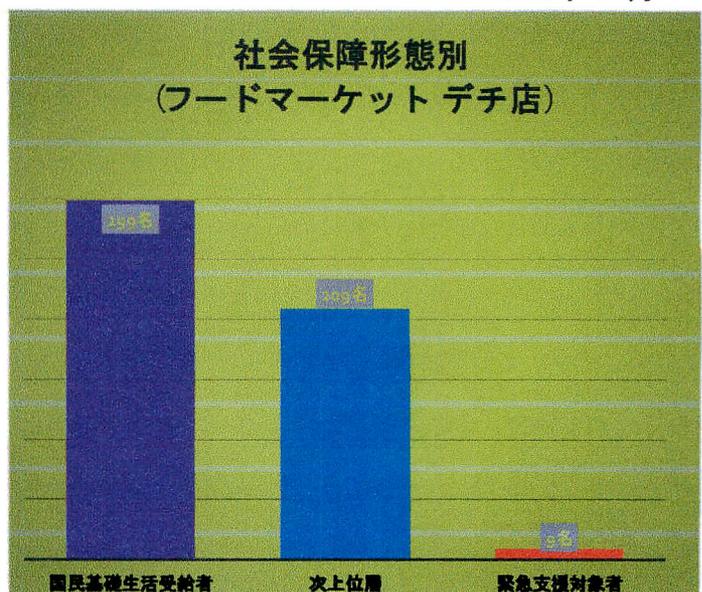
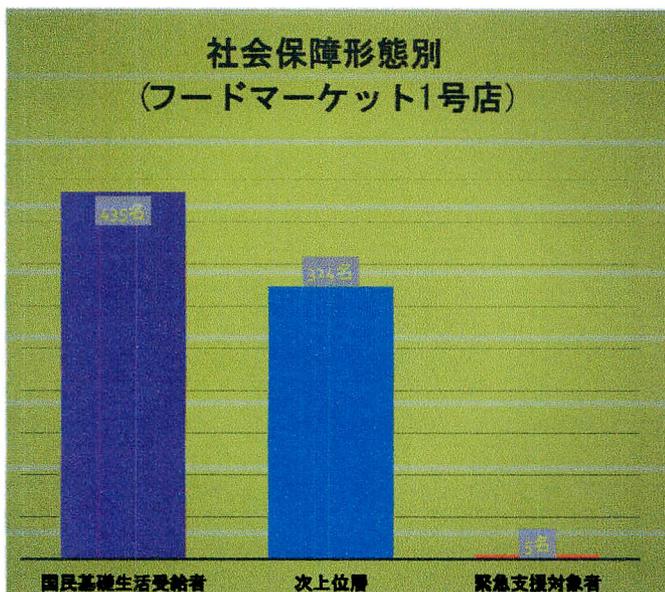
2016年11月



計1,281名

# 江南区フードバンク・マーケット利用者(個人)の現状

2016年11月



計1,281名

# 江南区フードバンク・マーケット利用者（個人）の現状

## 基礎生活受給者

所得認定額が中位所得の29%以下。

	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯
金額(ウォン)	471,201	802,315	1,037,916	1,273,516	1,509,116

## 次上位層

所得認定額が中位所得の50%以下。

	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯
金額(ウォン)	1,562,337	2,660,196	3,441,364	4,222,533	5,003,702

### 所得認定額

所得認定額=収入評価額+財産の所得換算額

所得評価額=(実際の収入 - 家具特別性支出 - 勤労所得控除)

財産の所得換算額=[財産 - 基本財産額 - 負債] × 所得換算率

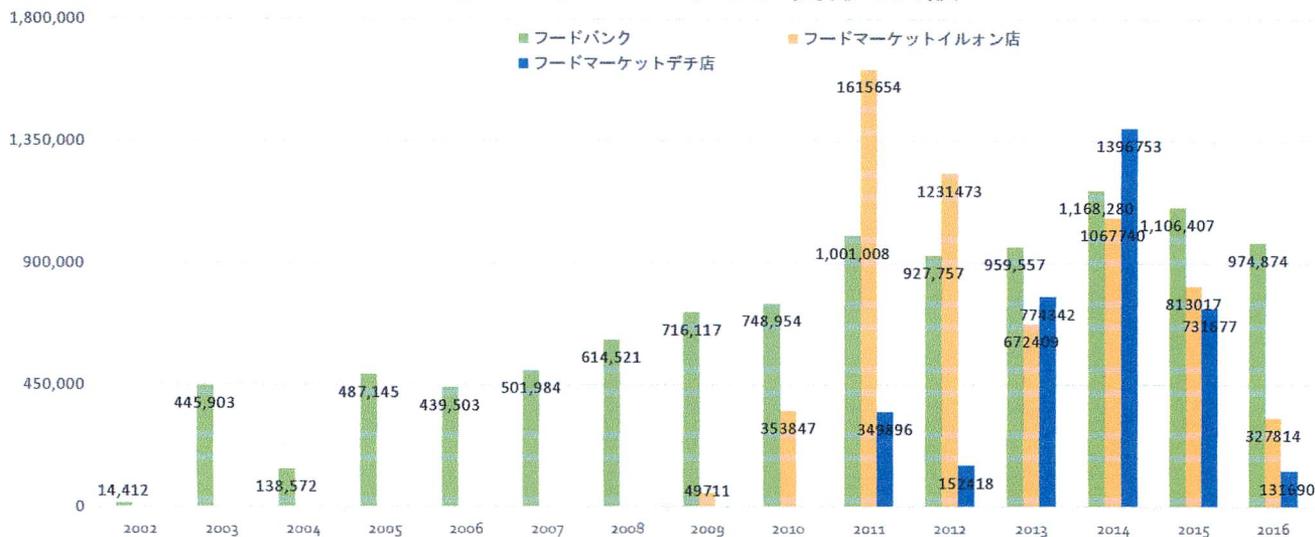
### 中位所得

総世帯の所得順位を付けた後、正確に中央を占める世帯の所得

# 江南区フードバンク・マーケットの後援品受付及び配分の内訳

単位：千ウォン

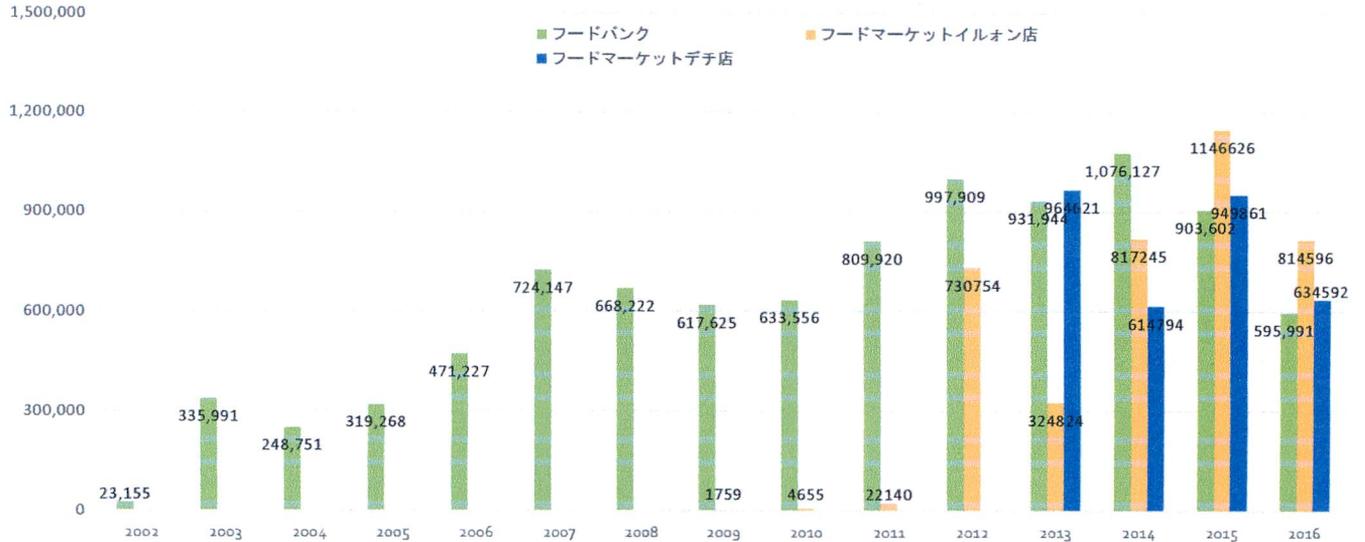
## フードバンク・マーケット 受付の内訳



## 江南区フードバンク・マーケットの後援品受付及び配分の内訳

単位:千ウォン

### フードバンク・マーケット 配分の内訳



## 江南区フードバンク・マーケットの主な事業

寄付食品提供事業の広報、潜在寄付者の発掘および低所得層・疎外層の物品支援など、持続的な分け合い文化の拡散のための  
**食品分け合いの日の行事**



## 江南区フードバンク・マーケットの主な事業

地域社会の福祉資源の開発と寄付食品提供事業のより積極的な広報のための

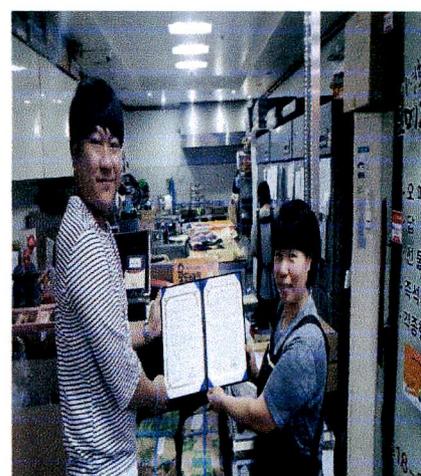
企業連携イベントの運営



## 江南区フードバンク・マーケットの主な事業

持続的な寄付の手引及び管理のための寄付業者訪問と、より効率的

な事業運営のための寄付協約式



## 江南区フードバンク・マーケットの主な事業

行動が不便でマーケットを訪問できない利用者を対象に

訪問移動フードマーケット事業



## 江南区フードバンク・マーケットの主な事業

寄付食品提供事業のための資金調達のためにかち合いバザー



감사합니다 :)  
ありがとうございます。



# 聖公会フードバンク

## 過去18年の経験と展望

金翰承(キム・ハンスン)神父  
(聖公会フードバンク代表)

## 聖公会フードバンクの設立

- 通貨危機とフードバンク運動の開始(1998. 5.8)
- '空腹のない世界に向けた歩み 1998年以降'



# 主な沿革

- 1997.11 政府(保健福祉部)にフードバンク事業政策提案
- 1998. 5 食料改革運動協議会(YMCA、YWCA、曹溪宗福祉財団、バジ福祉財団、愛のパン分かち合い会など参加)の結成を介して、民間フードバンク運動の提案と開始(ソウル4支部)
- 1998. 2 ソウル駅無料給食開始
- 1999. 1 聖公会フードバンク全国化の推進
- 2000. 1 非営利民間団体として登録
- 2001/2003 京畿道驪州にフードバンクファーム設立運営
- 2003 ソウル都心調理センターの設置及びバス供給導入
- 2004. 9 おにぎりコンサート開始
- 2008. 4 北朝鮮(金剛山オンジョン里)支援事業の開始と停止
- 2012 アジア(ミャンマー北部ホピン)支援事業を開始
- 2012. 4 社会的企業貞洞クツパ設立

# 需要供給の現状

食品供給先			食品需要先 (日平均)			
計	定期的	時折	合計	個人	家庭	施設
578	268	310	11,700	3,595	1,100	266

※上記の統計は、政府受託事業(基礎フードバンク、フードマーケット)を除いた純粋な聖公会フードバンクのみの統計である。



# 主な事業

- ① お弁当の配達事業(中央および7支部)
- ② 1:1縁結びサポート事業(全国)
- ③ 給食事業(中央および14支部)
- ④ バス巡回供給事業(中央)

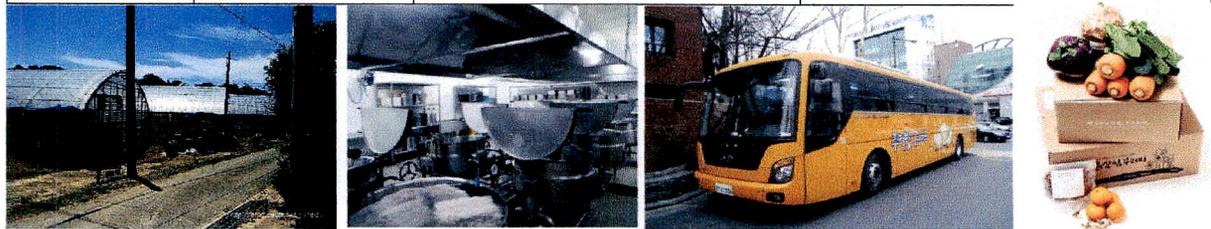


- ⑤ 無料給食/団体食事業(中央および12の支部)
- ⑥ 移動式食料提供事業(3支部)
- ⑦ フードマーケット(7支部)
- ⑧ 冬キムチの漬け込み支援事業(中央→全国支部)
- ⑨ 食分かち合いキャンペーン(おにぎりコンサート/貞洞クツパ)



# 韓国型フードバンク運動の模索

インフラ/事業	機能	設備/技術/システム	比較
直営農場	- 新鮮野菜、果物の供給	- ハウス施設(4シーズン) - 有機栽培術 - 冷蔵/冷凍庫	- 直営 - 都市農業の連携
広域 ノヌメギセンター	- 倉庫 - 食品の大量調理の供給	- 常温/冷蔵/冷凍/特殊倉庫 - 食材の処理加工 - 大量調理	- 七日貢献、バスの供給をサポート - 公有地賃貸 - ボランティアアクセシビリティ
バス巡回の供給	- 都心脆弱階層 巡回供給	- 大(改造)バス - ボランティアシステム	- 高いかが、苦情、自尊心 - 移動
7日貢献	- 韓国型 標準的な災害支援事業	- 1:1カスタムサポート - 構成:米、キムチ、おかず3~4種、副食、 スナック、果物、野菜、小型電気炊飯器、小 型冷蔵庫など	- 自尊心(訪問回数最小化) - ノヌメギセンター→支部、災害チーム→家庭 →ボランティアフィードバック(イントラネット)

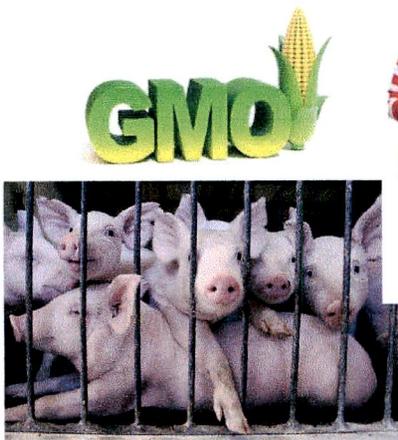
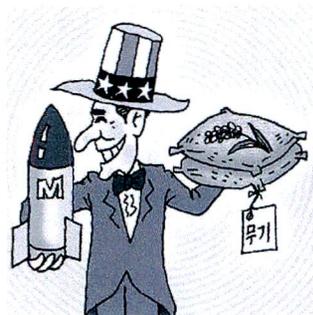


# フードバンク運動環境の比較

区分	アメリカ	ヨーロッパ	アジア(韓国)
導入時期	1960年代末/創始国	1980年代初中盤	(1998)
主導運営主体	民	民+官	民(官+民)
食文化	缶詰・インスタント 化	調理食品	調理食品(四季~)
利用可能な 余剰食品資源	豊富→最近の減少	通常	通常→減少
社会 セーフティネット	民主導	官主導	伝統的な社会 →民官福祉

# 欠食/食料問題の本質とアジア的な対応

- 1) 食料主権と食料無機化の問題
- 2) 工場式畜産、フランチャイズ(ローカル/スローフードの破壊)、GMO
- 3) 伝統的な農業国の解体、労働の国際移動と送金経済
- 4) フードバンク運動のアジア的な協力モデル(AFNET)



# 聖公会フードバンクの18年の経験と展望

キム・ハンスン神父(聖公会フードバンク代表)

## 1. 聖公会フードバンクの設立と運営

### 1) 設立 契機と過程

聖公会フードバンクは、韓国が通貨危機を迎えた1997年の翌年5月6日、大韓聖公会によって設立された。5月6日は、この事業のために冷凍トラック4台を購入、ソウルの4つの地域に初めて配置した日であり、アジア初のフードバンク運動を始めた日である。聖公会がフードバンク事業を認知したのは、それより2年遡る1996年であった。アメリカとカナダの地域運動を探訪してきたソン・ギョンヨン神父(当時の社会宣教部長)が、通貨危機を契機に導入することになった。

通貨危機は、多くの企業や家庭の破産を誘発した。突然、企業が不渡りになり、債務不履行者になったり、あるいは失業した人々が街にあふれていた。貧困地域に残った社会の弱者(子ども、高齢者、障がい者など)の欠食の問題も社会問題として浮び上がった。

当時聖公会は、複数の民間団体とともに、フードバンクを設立しようとした。1997年末、YMCA 連盟、YWCA 連合、曹溪宗社会福祉財団、キリスト教の長老会福祉財団、クズ宣教会に「食料分け合い運動本部」の結成を提案し、これを韓国型フードバンクとして発展させようとした。アメリカで始まったフードバンクが下から(bottom up)形成された、協同組合的(cooperative)市民社会運動であることをよく知っていたからである。しかし、食料分け合い運動協議会の組織内の意見の相違を狭めることができず、最終的に聖公会単独で「聖公会フードバンク」を設立するに至った。

### 2) 聖公会フードバンクの現状

2016年現在、聖公会フードバンクは、中央本部と全国22個の支部で行うバス巡回給食、お弁当の配達、イレイバジ(毎週食料パッケージ在宅支援事業)、団体・イベント式サポート、フードマーケット、家庭縁組、キムジャン・キムチ(冬に食べるキムチ漬け)サポート等の事業を通じて、一日約12,000人の欠食の隣人に食料を供給している。

政府の支援なしで、純粋な民間資源で運営してきたが、ここ数年の間に、いくつかの支部は自治体からの基礎フードバンクとフードマーケットを受託され運営している。聖公会フードバンクの基本となる運営資源は約1,700人の定期的個人後援、約250社の企業や団体の定

期・不定期の資金寄付、約 580 ヶ所の定期・不定期物品寄付、定期バザーなどを通じた資金の確保、おにぎりコンサートを通じた募金、社会的企業<sup>ゾンドン</sup> 貞洞クッパの営業利益などである。

食品供給先			食品需要先(一日平均)			
計	定期	不定期	総人数	個人	家庭	施設
578	268	310	11,700	3,595	1,100	266

※上記の統計は、政府受託事業（基礎フードバンク、フードマーケット）を除いた純粋な聖公会フードバンクのみの統計である。

## ア 主な沿革

- 1997.11 韓国通貨危機を迎え、政府保健福祉部にフードバンク事業の政策提案
- 1998年5月、食料分け合い運動協議会（YMCA、YWCA、曹溪宗福祉財団、<sup>ギジャ</sup>機張福祉財団、クズ(粉)愛分け合い会など参加）の結成を通じ、韓国初の民間フードバンク運動の提案と開始（ソウル4支部）
- 1998年2月、ソウル駅の無料給食開始
- 1999年1月～、聖公会フードバンク全国化の推進
- 2000年1月、非営利民間団体として登録
- 2001-2003年、京畿道<sup>ヨジュ</sup>驪州市にフードバンクファーム設立運営
- 2003年、ソウル都心調理センターの設置及びバス給食導入
- 2004年9月、おにぎりコンサート開始
- 2008年4月、北朝鮮（金剛山オンジョン里）の支援事業の開始と停止
- 2012年～、アジア（ミャンマー北部ホピン）の支援事業を開始
- 2012年4月、社会的企業<sup>ゾンドン</sup> 貞洞クッパ設立

## イ 主な事業

### ①お弁当の配達事業（中央および7つの支部）

行動が不便で、調理をすることができない重度障がい者と一人暮らしの高齢者の食事のための事業

②1:1 縁組サポート事業（全国）

親がいない子ども(孤児)、在監者の子どもたちのための事業で、毎月 10 万ウォンずつ、最大 12 年（8～19 歳）間サポート

※2016 年 11 月現在、合計 260 人を支援（2012 年から毎月助成金 7 万ウォンで調整）

③おかず配信事業（中央および 14 支部）

重度障がい者、親がいない子ども、一人暮らしの高齢者、複合世代家庭に週 1-2 回提供されている事業で、おかず、食材、おやつなどが提供される

④バス巡回給食事業（中央）

都心の脆弱欠食層（ホームレス、長屋住民、開発後進地域の住民等）のための現場でのクッパ提供事業

⑤無料給食・団体食事業（中央および 12 支部）

ホームレス、年配の方や劣悪な社会福祉施設、グループホームなどのための団体食提供の事業

⑥移動式食料提供事業（3 支部）

アクセスが困難な島嶼地域、貧民街、山村など遠距離需要先を直接訪ねて、食料を提供する移動式フードバンク支援事業

⑦フードマーケット（7 支部）

ドイツの小型会員制無料マーケットのタフェル（Tafel）をベンチマーキングした事業で、様々な食料や生活必需品を陳列展示しておいて、需要者が直接訪ねてきて物品を選択するようになった事業

⑧キムジャン・キムチ(冬に食べるキムチ漬け)サポート事業（中央→全国支部）

1998 年から毎年冬の恋の実、SK グループ、斗山インフラ、ハンサルリム、食料分け合い運動協議会などとともに、毎年約 1 万 5 千の貧困家庭や施設にキムチを供給

⑨一食分け合いキャンペーン（おにぎりコンサート・<sup>ゾンドン</sup>貞洞クッパ）

▷おにぎりコンサート

自分の食事代を寄付して、おにぎりを食事代わりにコンサートを楽しむイベント。  
2004 年 9 月初公演以来、合計 258 回の公演に 429 チームのミュージシャンと 58,617 人の観客が参加して、約 3 億 4 千万ウォンを募金した。聖公会フードバンクの代表的な募金行事である。

ゾンドン  
▷社会的企業 貞洞クッパ

聖公会フードバンクがクラウドファンディングを介して資金を確保し、2012年に設立された、同名称の社会的企業が運営するレストランである。クッパー杯を食べるだけでも、誰かを助けることができるという優しいクッパ食堂。今後全国のフードバンクの支部の基本になるモデルとして運営する計画である。

### 3) 韓国型フードバンク運動の模索

聖公会は、フードバンク事業の慢性的な需給の不均衡、財政難などを根本的に解決し、より人間的な方式を備えるため、次の事業を推進する計画である。

①専門法人化：2017年には、フードバンクを教団から分離させて独立法人化する予定である。これは、フードバンク事業の公共性を構造化して、専門性を高め、北朝鮮とミャンマー支援を最後に中断されたアジア地域の事業を再開する契機になるだろう。法人化の過程で、個人の少額定期寄付参加の拡大、おにぎりコンサートの多角化、バザーの拡大などにより、財政の安定性と健全性を保っていく計画である。

ゾンドン  
②社会的企業 貞洞クッパを介して給食財源の確保方法の抜本的な改革を模索するとともに、フードバンク支部の基本になるモデルとして定着を図る予定である。

③フードバンクの給食事業に必要な食材の円滑な確保のために、直営農場を国内外に設立して運営し、間接的支援ネットワークも豊富に拡大（例えば、都市農業、週末農場および単位農協の姉妹縁組）していく予定である。

④様々なタイプの欠食層への支援方法の差別化を図る。バス巡回給食事業を主な大都市に拡大運営して、広域ノヌメギセンター（訳者注：「ノヌメギ」は分け合いの意）を設立し、韓国型標準の給食支援事業であるイレイバジ事業を定着させていく計画である。特に、圏域別に立てられる広域ノヌメギセンターは、ローカルモデルの貞洞クッパとともに韓国型支援事業の機能中心のインフラになるだろう。

インフラ ・事業	機能	設備・技術・システム	備考
直営農場	-新鮮な野菜、 果物の供給	-農業用ビニールハウス (4シーズン) -オーガニック栽培術 -冷蔵・冷凍庫	-直営 -都市農業の連携
広域 ノヌメギ センター	- 倉庫 - 食品の大量 調理供給	- 常温・冷蔵・冷凍・特殊倉庫 - 食材の処理加工 - 大量調理	-イレイバジ, バス給食支援 - 公有地賃貸 - ボランティアのアクセシビリティ
バス巡回 給食	-都心の脆弱 階層巡回供給	- 大型 (改造) バス - ボランティアシステム	- 高い支持、(国民の)請願、自尊心 - 移動
イレイバ ジ	-韓国型標準在 宅支援事業	-1:1 サポート -構成: 米、キムチ、 おかず 3~4 種、副 食、スナック、果 物、野菜、小型電気 炊飯器、小型冷蔵庫 など	- 自尊心 (訪問回数最小化) - ノヌメギセンター→支部、在宅チーム →家庭→ボランティアのフィードバック (イントラネット)

## 2.フードバンク運動のアジア的適合性について

### 1) 不適切な環境

はたしてフードバンクは、アジアに似合う運動なのか？1960年代末、この運動を最初に始めたアメリカは、色々な面でフードバンク運動に有利な社会的条件を備えていた。多国籍食品企業と食料メジャーによりあふれる余剰食品、寄付・保管・調理が容易な缶詰・インスタント食品文化、政府主導型のヨーロッパ式福祉とは、他の民間（企業・地域社会など）主導型社会福祉の発達、不法滞在者などの厚い福祉需要層の存在、さまざまなボランティア組織と活動の発達など必要十分条件をあまねく備えていた。

一方、アジアの状況は劣悪だった。都市化・産業化の過程で、伝統的社会の急速な解体に

もかかわらず、これに代わる民・官社会安全網の未形成、高い自尊心の文化、四季にわたる（日中韓など）の複雑な調理食品・スローフード文化、寄付とボランティア組織の萌芽期など、さまざまな面でフードバンクの発達に不利な環境を持っていた。

## 2) 社会的価値と意義

それにもかかわらず、ほとんどのアジア諸国は、伝統的な社会の解体以降、社会的二極化の深化などでフードバンクなど、様々な民間社会福祉システムがより必要とされる状況である。特に、韓国の場合、フードバンク運動に関する不利な条件にもかかわらず、いくつかの面で社会的価値を持った運動である。

### ①フードバンク運動は、伝統的分け合い文化の継承の運動

2016年現在、韓国の社会福祉支出は、OECD 35カ国のうち34位である。98年の通貨危機以降、増え続ける失業率、二極化、世界経済不況の長期化などで貧しい人のための社会安全網は極端に不足している。フードバンクは、構造的な欠食問題の解決のために、食品会社、地域社会、基金のスポンサーやボランティアと一緒にする広範な市民社会運動としての価値を持っている。

### ②フードバンク運動はエコロジー運動

韓国は一年1,700万トンの穀物を輸入する世界3位の食料輸入国である。伝統的な農業国でありながら、穀物自給率が25%に留まっている。過去半世紀の都市化・工業化の過程で、農業の疲弊が進んだ結果であるが、特に最近、相次ぐFTA締結により食料の海外依存度はさらに深刻化している。このような事情は、アジア諸国のほとんどが直面している問題で、今後、食料自給の問題は、国家安保の次元で真剣に考慮すべき問題である。さらに各家庭や企業、店舗等で捨てられる生ごみは、年間約500万トンのごみ全体の約28%を占めており、経済的にも、約20兆ウォンに達する莫大な社会的資源の損失である。1000万人が居住するソウル市だけで、一日約1,600トンの可食部生ゴミ（食べれるものにもかかわらず捨てられる生ゴミ）が捨てられているが、これは成人80万人が一日三食を食べることができる、すごい量である。フードバンク運動は、まさにこの食品資源を活用しようとする運動である。

### ③フードバンク運動は環境に優しい運動

韓国は特におかずの数が多い食文化を持っている。当然、食べ残しによる環境汚染の問題も深刻である。特に、国内(韓国)生ゴミのほとんどは、塩分含有量が多い濡れている生ゴミとしてリサイクルが難しく、93%程度が埋め立て処理されているが、その埋立費用だけでも年間約4,000億ウォンに達する。もちろん、これによる環境破壊と復旧費用は天文学的な金額に達する。フードバンクは、生ごみになる恐れのある食品資源を有用な社会福祉資源に

変える運動である。

#### ④フードバンク運動は、民間社会安全網

韓国は通貨危機以降、労働集約型産業の急激な退潮、人件費・国際原油価格・原材料価格の上昇、経済活動人口の減少などで成長率停滞と構造的失業に陥っている。これにより、二極化、失業、新貧困層の拡大などが深刻な社会問題となっている。ここで WTO 再交渉と FTA 締結による農業市場の開放と農村の危機、ベビーブーム世代の大量退職、人口の急激な高齢化など、膨大な福祉需要も待ちかまえている。すでに韓国は通貨危機以降、増え続けてきた福祉問題の対応に限界を感じている。供給が需要に追いつかず、福祉財政に赤信号が点灯している。このような状況では、民間の福祉の拡大は非常に重要な選択肢である。フードバンクは、これらの要求をすべて満たせない国の福祉の限界を補完する基礎となる民間社会安全網の一翼を担っている。

### 3) 土着化の道

フードバンクは、多くの点で、アジアやヨーロッパよりアメリカに適切な運動である。社会的条件の上、そうである。しかし、欠食問題の許容と寛大さの面では、アジアにより適切な運動である。問題は、「変化した社会・経済的環境に合わせて定着化させることができるか？」にある。

区分	アメリカ	ヨーロッパ	アジア(韓国)
導入時期	1960 年代末・創始国	1980 年代・初中期	(1998)
主導の運営主体	民間	民間+政府	民間(政府+民間)
食文化	缶詰・インスタント化	調理食品	調理食品 (四季～)
利用可能な余剰食品資源	豊富→最近減少	普通	普通→減少
社会安全網	民間主導	政府主導	伝統社会 →民官福祉

### 3. アジア通貨危機以降の世界の状況とフードバンク運動

1990年代後半のアジア通貨危機後の二極化現象はさらに深刻化している。絶対貧困層と欠食人口も増えている。これは、世界的に共通の現象でフードバンク運動の創始国であるアメリカも例外ではない。2015年フィーディング・アメリカのレポートによると、アメリカでも約5千万人以上のアメリカ人が欠食問題を抱えており、その規模も年々増加していることが分かった。

これは、1992年の社会主義圏崩壊と1994年WTO体制発足以来、脱規制、自由化、民営化を骨子とした新自由主義的グローバル化が急速に拡散した結果である。アジアは通貨危機を契機に、このシステムに急速に編入された。

貧富の差は国家間、企業間でも深刻化している。最貧国と先進国の1人当たりのGDPの格差は、1970年1:19から1985年1:40を経て、2007年1:96に拡大した。世界的な金融危機以降、アメリカのウォール街デモ隊のプラカードには、ついに「We are the 99%！」というスローガンが登場した。世界の人口の1%が全世界の財産総額の40%を占め、この中で最も豊富な上位10%が全体の資産の85%を独占したのに対し、26億人、1日に2ドルにも満たないお金で生活し、その中の3分の1は、1ドル未満で延命しているのが現実である。

韓国も過去20年の間に20:80の社会から5:95の社会に変わり、中間層が消え非正規雇用労働者が全労働者の50%を超えた中で、欠食問題は児童から高齢者へとその中心が移っている。

### 4. 欠食と食料問題の本質とアジア的な対応

食料と欠食・飢餓問題は全地球的な協力と努力で解決しなければならない課題である。しかし、国連ミレニアム開発目標の達成の遅れなどで見られるように、国家間の協力だけでは限界がある。フードバンク運動も既存の恩恵的・余剰的な福祉運動の枠組みから抜け出して、より本質的な問題を考慮した積極的な社会運動に発展させていかなければならない。

#### 1) 食料主権と食料武器化の問題

新自由主義的グローバル化はアジア的生活の方法を根本的に変化させた。伝統的な農業国が食料輸入国に転落して、種子主権を喪失し、伝統的な農業の主体が移住労働者や国際結婚などに変化して、工業国に追い抜かされた。韓国も通貨危機を経て主な種苗会社が海外に売却され、農水畜産物の輸入および海外依存率は大幅に増えており、関連産業は萎縮した。

現在、世界の種子と苗市場はシンジェンタ（スイス）、モンサント（アメリカ）、デュポ

ン（アメリカ）、バイエル（ドイツ）の種子会社ビッグ4が独占している。特にモンサントは、全世界の遺伝子組み換え植物の90%を所有している。また、この4社は、BASF（ドイツ）、ダウ（アメリカ）とあわせて、世界殺虫剤市場の4分の3も占めている。

世界の穀物取引もごく少数の企業が独占している。ADM（アメリカ）、トウエポ（ドイツ）、ルイ・ドレイファス（フランス）、ブンゲ（アメリカ）、カーギル（アメリカ）などの食料メジャーは誰にどのような価格で穀物を売るかを独占的に決定し、基本的な穀物のほか油植物、繊維市場の植物、大豆市場も掌握している。

もちろん、上記の企業によって収穫された穀物のほとんどは、産業用に加工されるが、食料加工市場も少数が独占している。ネスレ（スイス）、子会社クラフトフーズを抱えるアトリア（アメリカ）、フィリップ・モリス（オランダ）、ユニリーバ（イギリス）、フェンとコカ・コーラ（アメリカ）、タイソンフーズ（アメリカ）、カーギル（アメリカ）、マーズ（アメリカ）などである。全世界的に取引されている穀物量は小麦1億トン、トウモロコシ8000万トン、米3万トン程度であるが、ますます収穫よりも消費の増加速度が多くなり、全世界の食料備蓄量は急激に減少している。食料がいつか、輸入依存度の高い発展途上国を圧迫する脅威になることを示している。食料が安全保障に直結する時代が来るという意味である。

上記の企業は、過去20年間、多くの競争企業を買収し、市場占有率を着実に高め（水平的集中化）、他の分野の食品業種の企業も飲み込んできた（垂直的集中化）。しかし、このように種子と食料の独占化は、まるで空を独占するような非常に危険なことである。

## 2) 工場式畜産、フランチャイズ（ローカル・スローフードの破壊）、GMOなどの問題

種子と食料問題に劣らず摂食文化も問題だ。伐採、都市化、砂漠化などで耕作地が年々大幅に減少しており、何よりも肉の消費の増加が食料の減少を加速させている。飼料として使われる穀物が増えているからである。肉1カロリーの栄養を作るために、植物17カロリーが消費される。2015年現在、世界で生産される肉の量は2億8000万トンで、1980年度に比べて2倍に増加した。家畜を狭いスペースで大量生産する多様な方法が用いられている。抗生物質飼料、不衛生な家畜環境、非人間的屠殺(屠畜)など、いわゆる「工場式畜産」が世界的に広がっている。これは、必然的に狂牛病のような副作用を伴わざるをえない。

フランチャイズ文化も同じだ。世界的に広がってフランチャイズは、ファースト・ジャンクフード文化を拡散させて、国別・地域別・季節ごとの様々な食文化を破壊し、さらに非正規時給制の労働文化を拡散させるなど、莫大な社会的副作用を起こしている。

### 3) 伝統的な農業国の解体、労働の国際移動と送金経済

伝統的な農業国が農業の競争力を失い、食料輸入国に転落することで、できた最大の変化の一つは、隣の産業国への編入である。アジア開発途上国の労働者は日中韓などの産業化された国へ、中南米の労働者は北米に送出される。彼らの送金で、その国(開発途上国)は国の経済を支える。彼らの送出過程、以降の人生、本国の経済基盤の崩壊など、すべてに多大な影響を及ぼしている。彼らが故郷に背を向けないように助けてあげるべきである。

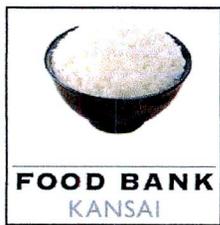
### 4) フードバンク運動のアジア的な協力モデル

アジア諸国は歴史、価値観、文化、生活の方法など、多くの面で共通点を持っている。直面した貧困の問題を解決していくにも協力と連帯が必要である。特に伝統的な社会の価値と、西欧と他の方式の社会安全網を備えていくために、現在、西欧主導の新自由主義的な方法ではなく、代替的モデルの開発は非常に重要である。

聖公会フードバンクは、アジアの食料支援ネットワーク事業 (AFNET; Asia Food Supply Network) を介して、この問題を解決しようと考え、計画している。この事業は、アジア全域に農業保健学校を立てて、農業人材を養成して地域別に食料自給を成すようにし、生産物の一部を無償支援し、国際生協を介して販売しているプロジェクトである。学校は、地域の自給・自治の中心であり、アジア連帯の窓口でもある。

AFNET 事業は、一国際開発 NGO や国際機関が重ねてきた数々の試行錯誤と失敗 (モノカルチャー、援助経済とその過程の弊害) を反面教師にした代替的なモデルとして、純粋な民間レベルでの食料需給とサポートの方法を見出そうとする。

日韓翻訳 : Kim Boye (筑波大学学校教育専攻博士後期生)



認定特定非営利活動法人 フードバンク関西

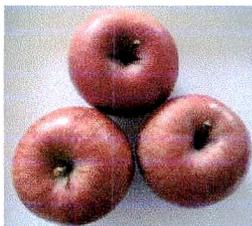
余った食べ物をあずかって、必要なところに届けます。

私たちの思い 「食べ物は命の糧、大切にしたい。」



なんともったいない！！

箱破損、印字ミス、形が悪い 売れ残った、余った！！  
賞味期限まで 充分日が残っているのに  
廃棄されている食べ物がたくさんあります。



その一方で、失業や病気等の理由で毎日の食べ物に  
困っている人達がいます。



食べられるのに廃棄されている食品を  
ボランティアの手で必要とする人達に届けたら



食べ物は美味しく活用され、命の糧として  
本来の価値を全う出来ます。



食べ物は、命そのもの、命の糧です。  
大切にしたいと考えています。

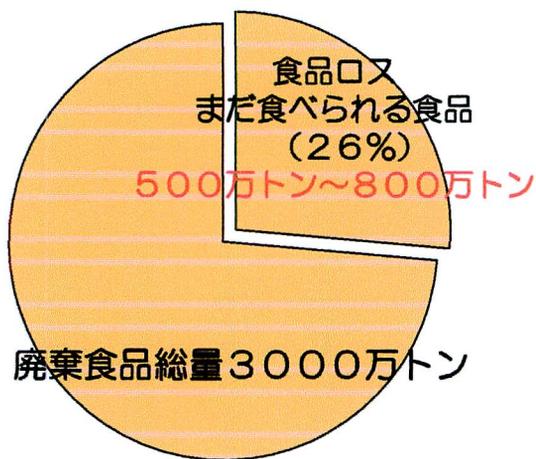
## 日本における食資源の利用状況

(平成22年度農林水産省資料)

人の食用 9000万トン

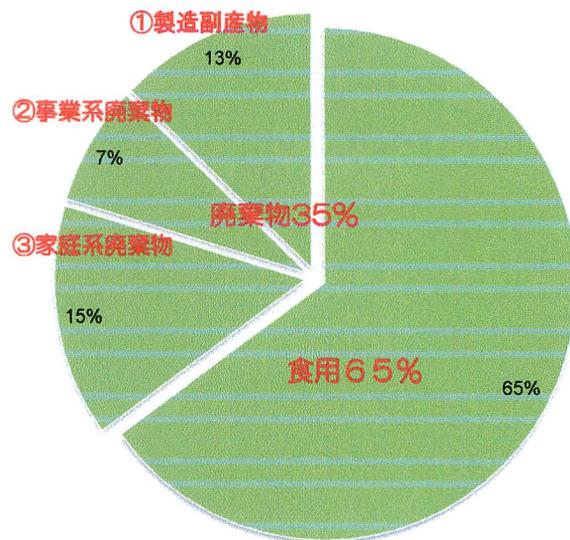
食品廃棄物 約3000万トン

食品廃棄物のうちの約4分の1は  
まだ食べられる食品(食品ロス)



食品廃棄物  
約3000万トン

食資源約9000万トン



### 参考データ

- 1 日本のお米の年間総収量は約850万トン
- 2 国連機関が飢餓に苦しむ人たちへ支援する穀物量は合計で年間360万トン程度

日本は途方もない量の食品を、まだ食べられるのに廃棄しています。

年間500万~800万トンの食品ロスを減らせば  
日本の食品価格は 上がる? 下がる?

先進国の食品ロスを減らせば  
世界の穀物市場の価格は?

富める国の国民の飽食、大量廃棄、  
貧しい国の国民の栄養不足。

### 地球レベルで社会が抱える問題

- ①世界の栄養不足人口は8億4千万人。FAO(国連食糧農業機関)
- ②発展途上国では5歳になる前に命を落とす子どもの数は年間500万人。
- ③地球の自然環境は? 異常気象(温暖化)の進み方は?

# フードバンク関西ってなにしているの？

## フードバンク関西

### 食品流通関連企業・個人

包装破損、ラベル印字ミス、  
納品期限切れ、販売期限切れ  
フードドライブ

商品としては扱えないが、  
食べ物としては問題ない  
食品

### 支援を必要とする人達

福祉施設への食糧の無償提供  
食のセーフティネット  
子ども元気ネットワーク  
子ども食堂支援



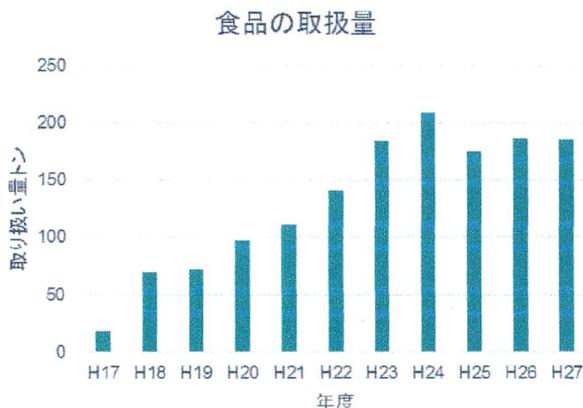
取り扱い食品量は、年間180トン程度。

70人のボランティアが、  
食品の企業からの回収と福祉団体へのデリバリー  
事務所で食品の入在庫管理、検品、仕分け  
の作業に当たっています。



## フードバンク関西 取り扱い食品量

平成27年の合計量 185.5トン



## 食品提供企業数

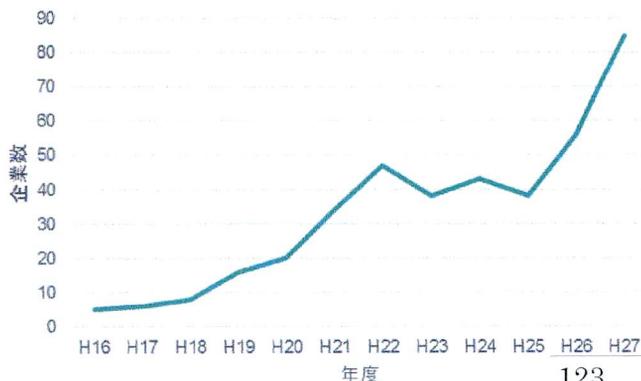
確認書交換企業数  
合計123社

平成27年度実績85社

定期的に提供	25社
不定期に提供	39社
災害備蓄食品のみ	21社



## 食品提供企業数の経年変化



# 食品の使われ方

## ①福祉施設・団体への食糧提供

受取団体 要支援生活者を支える福祉施設 (平成26年12月時点)

対象団体は約100団体

延受益者数(1カ月) 約10000人程度

子ども達の施設	12	
児童養護施設	子ども食堂	子供シェルター
母子生活支援施設	17	
母子生活支援施設	DVシェルター	
障害を持つ人達の施設	37	
身障者通所作業所	障害者共同生活ホーム	
ホームレス支援団体	14	
ホームレス就労支援	炊き出しグループ	
高齢者介護施設	5	
デイケア	配食・給食活動	
定住失業外国人支援団体	2	
難病患者デイケアセンタ	2	
更生施設 その他	10	



「うれしい!」「また来た!」と子供達が大喜び  
「買ってまでは」というものを提供でき、ありがたい  
児童養護施設

へとへと状態の方に、レトルト食品や缶詰など、すぐに食べられるものありがたい  
DVシェルター

おやつを配るとき、受け取る人の笑顔を見て、やりがいを実感  
ホームレス支援団体

フードバンクがなかったら大変!!  
母子生活支援施設

体調不良で通所できない方に、届けることができる  
本当に役に立ち、感謝  
障がい者通所施設

## 食品の使われかた ②行政との協働 食のセーフティネット

この日本で、食べ物が無くて、命を落とす人がいる

平成24年 フードバンク関西が扱う食品を活用して、困窮する市民への緊急食支援の仕組みを作りました!!

行政との協働

事業協定を結び、

仕組みを稼働

- 尼崎市 芦屋市
- 西宮市 川西市
- 伊丹市 宝塚市
- 兵庫県委託先事業所

支援実績

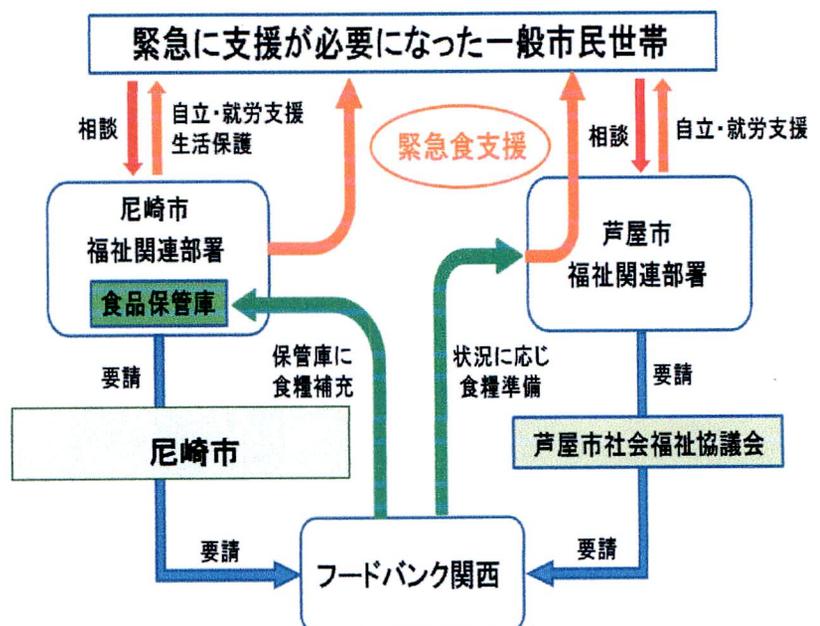
1件1週間分の食糧提供

平成24年度 94件

平成25年度 165件

平成26年度 268件

平成27年度 288件



困窮者支援の一つのツールとして非常に役立たせていただいております、今後も連携協力の上、継続して実施したい 行政関係者

## 食品の使われ方 ③ 民間団体との連携 NPOの協働

### 子どもの貧困を何とかできないか？

離婚率の向上等により、片親世帯が増加。  
働いても働いても豊かに暮らせない現実  
頑張っている片親子育て世帯を応援したい！！



複数のNPO法人が連携して

**子ども元気ネットワーク**を立ち上げました。

NPOフードバンク関西 月1回の食糧支援  
NPO法人フリーヘルプ 3カ月に1回の衣料品支援  
NPOウィメンズネットこうべ 生活相談 学習支援  
NPO大阪のDVシェルター

一人あくせくしている毎日、心の支えになり本当に安心します。  
クリスマスとお正月がいっぺんに来たい！お菓子や果物が入っていて子ども達が大喜び。  
宝箱を開けるような楽しみを子供達が月に1回待っています。  
配達日が近付くとホッとします。  
食費も節約出来、いつもは買えない食品が入っていて、子ども達も喜んでます。  
美味しいパンが食べたいな、という子供の声が届いたみたい。パンがたくさん入ってました。  
おせち料理が本当に嬉しかった。

## 食品の使われ方 ④ 子ども食堂への食材支援

\*共働き家庭、片親家庭の増加により、一人で食事をする子供達が増えている。  
\*見えにくいけど、欠食児童が少なくない。

### 子ども食堂

一人でご飯を食べている子ども達集まれ！！  
みんなで食べれば、もっとおいしいよ。たのしいよ。  
子ども 0円～100円 大人 300円～

- \*地域のボランティア団体等が  
主催する毎週1回以上の食事会  
理想は小学校学区に一つ以上。
- \*地元の商店街の余剰食材を活用する。
- \*子どもの安心できる居場所作り
- \*支援が必要な子ども達も呼び込み  
ながら 学習支援も一緒にする
- \*将来は、高齢者も含めて、  
地域のみなを巻き込んだ食事会



## フードバンク関西の活動の効果と問題点

- ① フードバンクは、困難な状況にある人達へ  
**非常に効果的な支援**が出来ます。
- ② 日本の食品ロス量から考えると、  
**フードバンクは今後さらに発展する必要があります。**
- ③ フードバンク事業からは収益が全く生じません。  
フードバンク関西の活動を長期継続させるためには  
フードバンク関西の**食糧の確保と運営費の確保**です。

フードバンク関西の年間運営資金（年間約800万円）は、  
**賛助会費と寄付で賄っています。公的支援はありません。**

企業の皆様      食品のご提供をお願いします。  
市民の皆様      賛助会員として、フードバンク活動に参加して下さい。

フードバンクは、喜びの多い、ありがとうが行き交うボランティア活動です。

### 韓国のフードバンクとフードバンク関西の比較

- ①フードバンク活動に対する、国家の法整備の違い  
食品寄付活性化法の存在      ⇔      食品リサイクル法での再活用は発達  
食品ロスを再利用するという視点の欠如  
寄付      あるいは      グレーゾーンでの取引
- ②万一の事故に備えての体制  
食品寄付活性化法の中の免責事項      ⇔      法律がない  
生産物賠償責任保険
- ③食品提供企業への税制優遇  
寄付食品の損金処理  
⇔      認定NPO法人であれば寄付食品の評価額に対して損金処理が可能
- ④運営に対する公的支援  
国策フードバンクは      施設、人件費、運営費は公費で賄われる  
⇔      民間からの寄付